

広島市町内会・自治会等実態調査報告書

調査1 全単位町内会・自治会会長を対象としたアンケート
調査（町内会・自治会アンケート）

令和3年5月

目次

アンケート調査の結果.....	1
1. 町内会・自治会の名称などについて.....	2
2. 町内会の区域の状況について.....	2
3. 町内会の組織について.....	8
4. 町内会長・役員について.....	16
5. 役員の業務について.....	21
6. 町内会の役員確保について.....	25
7. 町内会の運営について.....	32
8. 町内会の活動について.....	36
9. 他団体からの協力について.....	46
10. 活動拠点について.....	49
11. 町内会の情報伝達、広報について.....	52
12. 町内会・自治会の加入について.....	57
13. 行政の支援について.....	67
14. 自由記入.....	69

アンケート調査の結果

【調査の目的】

本市の地域コミュニティの活性化の方策を研究し、「地域コミュニティ活性化ビジョン（仮称）」として取りまとめ、計画的に取り組んでいくことにしており、本調査は、町内会・自治会等の現状や課題を把握し、ビジョン策定の基礎資料とすることを目的としている。

【調査対象】

- (1) 調査対象 令和2年8月現在、本市内に所在する町内会・自治会
- (2) 母集団（配布数） 1,918 団体
- (3) 抽出方法 本市内に所在する町内会・自治会（悉皆）
- (4) 調査方法 町内会長・自治会長あて郵送による配布、郵送回収
- (5) 調査期間 令和2（2020）年8月28日（金）発送～9月30日（水）（締切設定日）
（当初、調査期間は、9月30日（水）までの予定であったが、10月16日（金）到着分まで受け付けた。）

【回収結果】

- (1) 回収数 1,457 件（回収率 76.0%）

【報告書の見方】

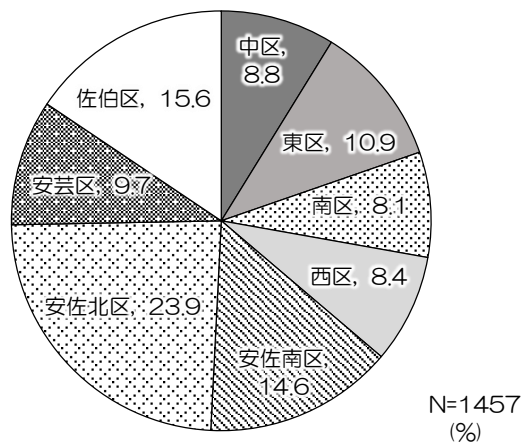
- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。従って、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を分母として算出した。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (3) 表やグラフ、文章において、選択肢等の表現を一部省略している場合がある。
- (4) 自由記述の表現は、趣旨を変えない範囲で一部要約、又は割愛している。

1. 町内会・自治会の名称などについて

問1. 町内会・自治会の所在地、名称、回答される方のお名前をお答えください。（直接記入）

所在地	() 区 () 町 () 丁目
町内会・自治会の名称	()
回答者の氏名	役職 () 氏名 ()

○ 「安佐北区」が最も多く 23.9%、次いで「佐伯区」が 15.6%、「安佐南区」が 14.6%となっている。

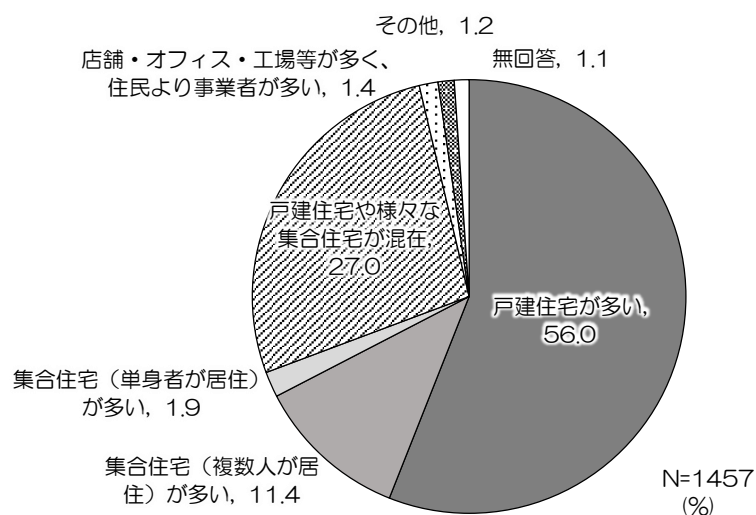


2. 町内会の区域の状況について

問2. あなたの町内会・自治会の区域の住宅の状況を教えてください。（1 つだけ○）

1. 戸建住宅が多い 2. マンション・アパート等の集合住宅（複数人で居住するタイプのもの）が多い 3. マンション・アパート等の集合住宅（単身者が居住するタイプのもの）が多い 4. 住宅地だが、戸建住宅や様々な集合住宅のタイプが混在している 5. 住宅よりも店舗・オフィス・工場等が多く、住民より事業者が多い 6. その他（具体的に	)
--	---

○ 「戸建住宅が多い」が最も多く 56.0%、次いで「戸建住宅や様々な集合住宅が混在」が 27.0%、「集合住宅（複数人が居住）が多い」が 11.4%となっている。

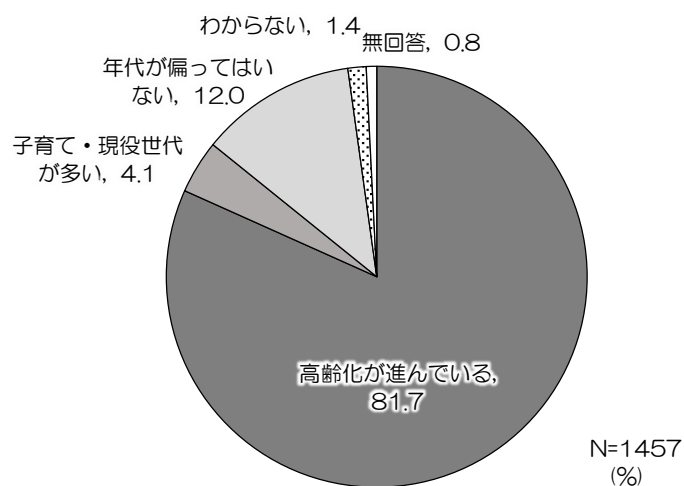


行政区	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区	合計	
周りの住宅の状況									(件)	(%)
戸建住宅が多い	16	77	44	34	105	294	100	146	816	56.0%
集合住宅（複数人が居住）が多い	39	21	17	20	24	17	9	19	166	11.4%
集合住宅（単身者が居住）が多い	10	3	2	6	3	2	2	-	28	1.9%
戸建住宅や様々な集合住宅が混在	43	56	52	59	76	24	27	56	393	27.0%
店舗・オフィス・工場等が多く、住民より事業者が多い	16	-	3	1	-	-	1	-	21	1.4%
その他	1	2	-	-	1	7	1	5	17	1.2%
無回答	3	-	-	3	3	4	2	1	16	1.1%
合計	128	159	118	123	212	348	142	227	1457	100.0%

問 3. あなたの町内会・自治会の区域の住民の年代の状況を教えてください。（1 つだけ○）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 高齢化が進んでいる | 3. 年代が偏ってはいない |
| 2. 子育て・現役世代が多い | 4. わからない |

○ 「高齢化が進んでいる」が最も多く 81.7%、次いで「年代が偏ってはいない」が 12.0%、「子育て・現役世代が多い」が 4.1%となっている。

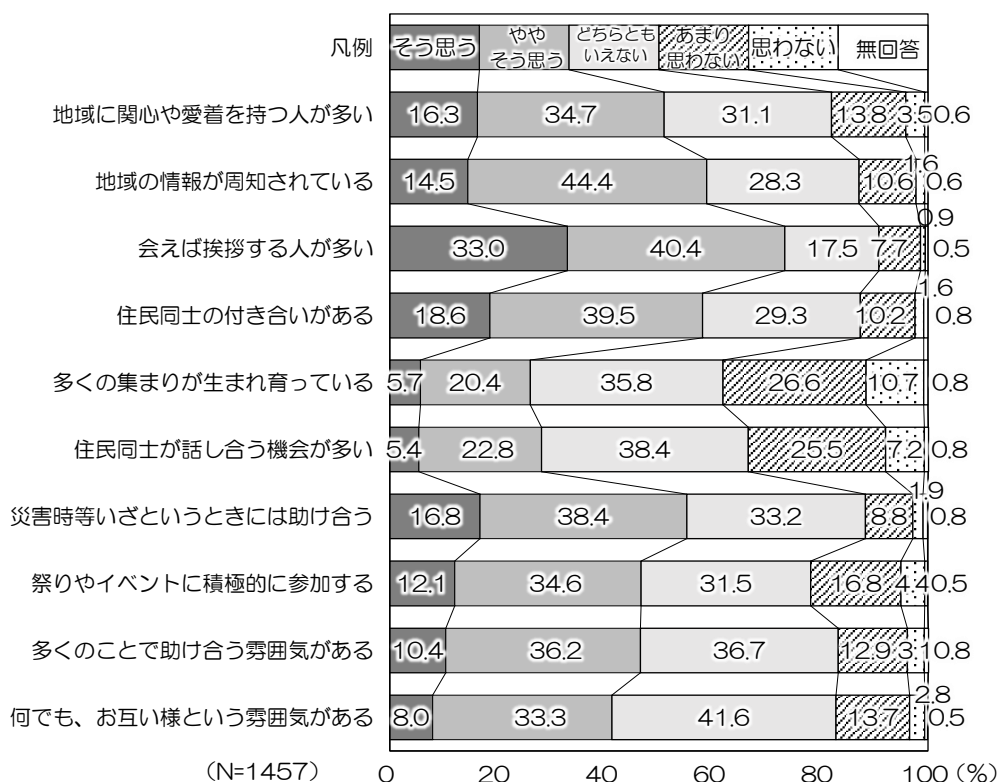


問 4. あなたの町内会・自治会の区域のコミュニティ状況について、どのように感じですか。（それぞれ1つずつ○）

コミュニティの活力度	そう 思う	やや そう 思う	どちら ともい えない	あまり 思わな い	思わな い
(1) 地域に関心や愛着を持つ人が多い	1	2	3	4	5
(2) 地域の情報が周知されている	1	2	3	4	5
(3) 会えば挨拶する人が多い	1	2	3	4	5
(4) 住民同士の付き合いがある	1	2	3	4	5
(5) 多くの集まりが生まれ育っている	1	2	3	4	5
(6) 住民同士が話し合う機会が多い	1	2	3	4	5
(7) 災害時等いざというときには助け合う	1	2	3	4	5
(8) 祭りやイベントに積極的に参加する	1	2	3	4	5
(9) 多くのことで助け合う雰囲気がある	1	2	3	4	5
(10) 何でも、お互い様という雰囲気がある	1	2	3	4	5

○ 「そう思う」と「ややそう思う」の合計で、「会えば挨拶する人が多い」が最も多く 73.4%、次いで「地域の情報が周知されている」が 58.9%、「住民同士の付き合いがある」が 58.1%となっている。

「思わない」と「あまり思わない」の合計では、「多くの集まりが生まれ育っている」が最も多く 37.3%、次いで「住民同士が話し合う機会が多い」が 32.7%、「祭りやイベントに積極的に参加する」が 21.2%となっている。

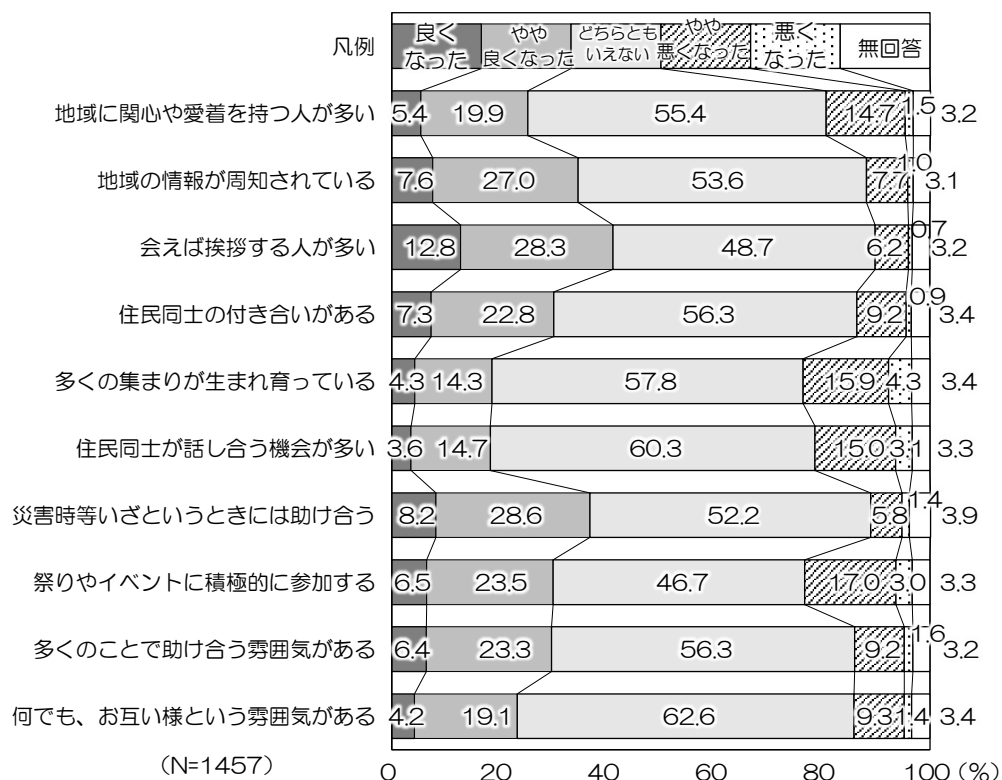


問 5. あなたの町内会・自治会の区域のコミュニティは、以前（5 年前くらい）と比べて変化しましたか。（それぞれ1つずつ○）

コミュニティの活力度	良くな った	やや良 くなっ た	どちら ともい えない	やや悪 くなっ た	悪くな った
(1) 地域に関心や愛着を持つ人が多い	1	2	3	4	5
(2) 地域の情報が周知されている	1	2	3	4	5
(3) 会えば挨拶する人が多い	1	2	3	4	5
(4) 住民同士の付き合いがある	1	2	3	4	5
(5) 多くの集まりが生まれ育っている	1	2	3	4	5
(6) 住民同士が話し合う機会が多い	1	2	3	4	5
(7) 災害時等いざというときには助け合う	1	2	3	4	5
(8) 祭りやイベントに積極的に参加する	1	2	3	4	5
(9) 多くのことで助け合う雰囲気がある	1	2	3	4	5
(10) 何でも、お互い様という雰囲気がある	1	2	3	4	5

○ 「良くなった」と「やや良くなった」の合計で、「会えば挨拶する人が多い」が最も多く 41.1%、次いで「災害時等いざというときには助け合う」が 36.8%、「地域の情報が周知されている」が 34.6%となっている。

「悪くなった」と「やや悪くなった」の合計では、「多くの集まりが生まれ育っている」が最も多く 20.2%、次いで「祭りやイベントに積極的に参加する」が 20.0%、「住民同士が話し合う機会が多い」が 18.1%となっている。

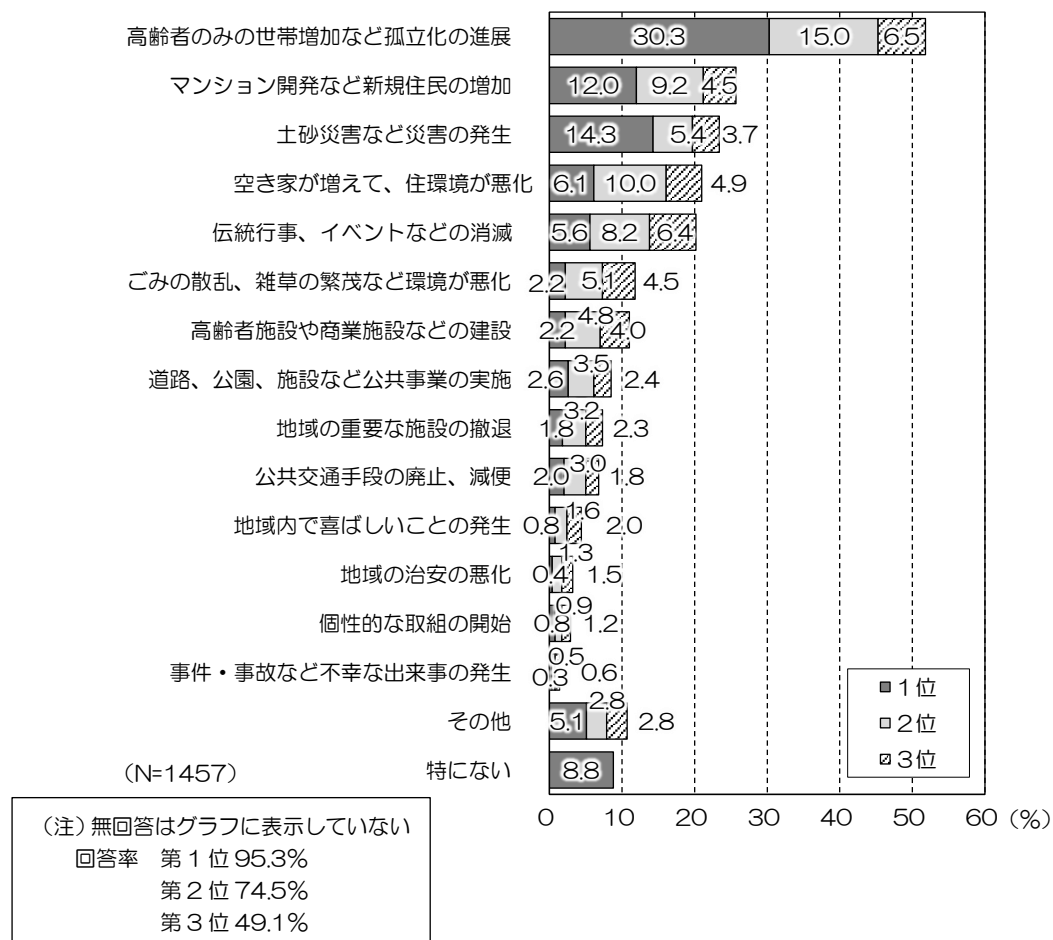


問 6. あなたの町内会・自治会の区域では過去 10 年ほどで地域活動や取組を左右するような大きな現象がありましたか。（大きいと感じている順に 3 つまで回答欄に番号を記入）

1. 高齢者のみの世帯の増加や近所付き合いが希薄となるなど孤立化が進んだ
2. 空き家が増えて、住環境が悪化した
3. 公共交通手段が無くなった、減便された
4. ごみの散乱、雑草の繁茂など環境が悪化した
5. 地域の治安が悪化した（不審者が出る、空き巣等が発生するなど）
6. 事件・事故、犯罪など不幸な出来事が発生した
7. 土砂災害、水害、火災、地震など災害が発生した
8. 地域にとって重要な施設が撤退した（小学校、保育所、医院、スーパー等）
9. 長年続いた伝統行事、イベントや集まりが無くなった
10. 地域内で喜ばしいことがあった（地元の活動や個人の表彰、有名人の輩出等）
11. 誰かが個性的な取組（新聞などで取り上げられるなど話題性のある取組）を始めた
12. マンション開発、宅地造成など、新規住民が増えた
13. 道路、公園、施設等の公共事業が実施された
14. 高齢者施設や商業・サービス施設などができた
15. その他（具体的に
16. 特にない

回答欄	第 1 位	第 2 位	第 3 位
-----	-------	-------	-------

○ 「高齢者のみの世帯増加など孤立化の進展」が最も多く、次いで「マンション開発など新規住民の増加」、「土砂災害など災害の発生」の順となっている。

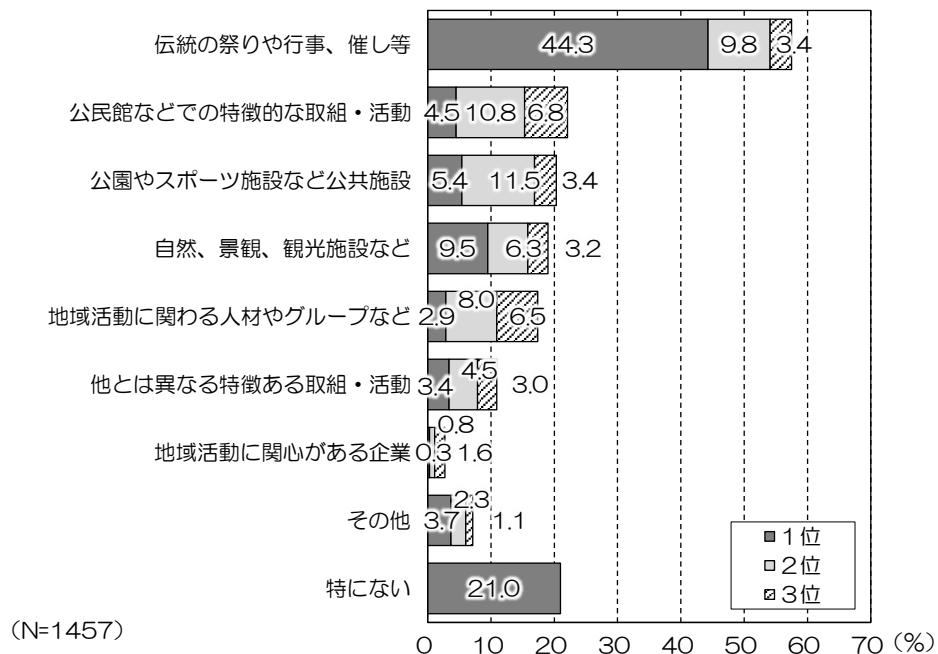


問 7. あなたの町内会・自治会の区域で自慢できるものはありますか。(自慢できる順に3つまで回答欄に番号を記入)

1. 伝統の祭りや行事、催し等がある
2. 自然が豊か、景観が良い、観光施設などがある
3. 公園やスポーツ施設など公共施設がある
4. 小学校、公民館などで特徴的な取組・活動を実施している
5. 他とは異なる特徴ある取組・活動がある(具体的に)
6. 地域活動に関わる人材やグループなどが多い
7. 地域活動に関心がある企業が多い
8. その他(具体的に)
9. 特にない

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 町内会・自治会の区域で自慢できるもののうち、「伝統の祭りや行事、催し等」が最も多く、次いで「公民館などでの特徴的な取組・活動」、「公園やスポーツ施設など公共施設」の順となっている。



(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 95.0%
 第2位 54.0%
 第3位 29.0%

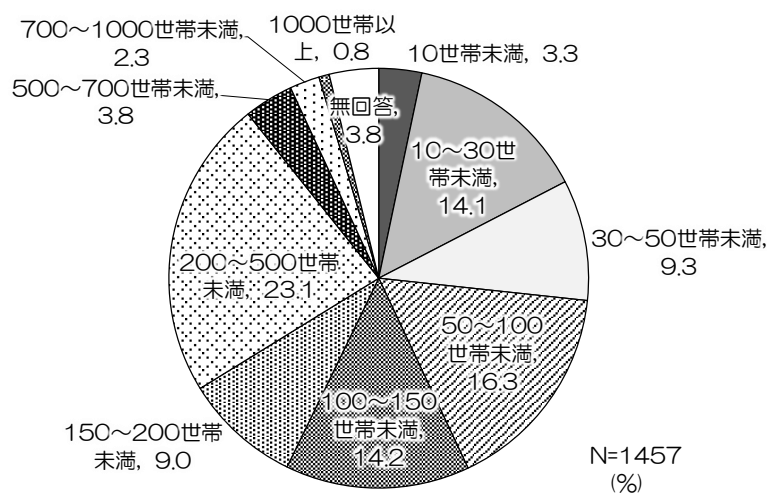
3. 町内会の組織について

問 8. あなたの町内会・自治会の状況について教えてください。（それぞれ直接記入、または○）

(1) 加入世帯数	世帯
(2) 町内会等の加入率	約 %
(3) 設立時期	昭和・平成 年頃
(4) 法人格の有無	無し（任意団体）・有り（認可地縁団体等）
(5) 規約の有無	無し ・ 有り
(6) 決算額（直近の年度、一般会計）	約 , 〇〇〇円
(7) 会費（年額）	円
(8) 中心となって活動している人数	約 人

【加入世帯数】

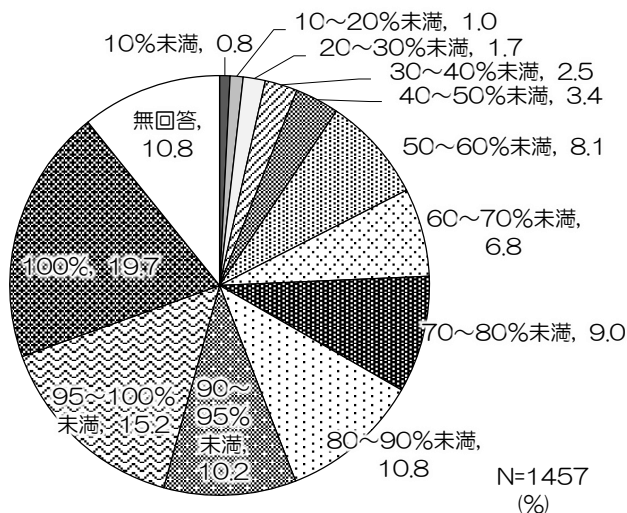
○ 「200～500 世帯未満」が最も多く 23.1%、次いで「50～100 世帯未満」が 16.3%、「100～150 世帯未満」が 14.2%となっている。



行政区 加入世帯数	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区	合計	
									(件)	(%)
10世帯未満	0	2	1	1	6	30	1	7	48	3.3%
10~30世帯未満	6	8	2	2	24	113	21	30	206	14.1%
30~50世帯未満	6	7	3	3	16	42	29	29	135	9.3%
50~100世帯未満	13	37	9	12	40	51	27	49	238	16.3%
100~150世帯未満	22	36	17	13	36	36	19	28	207	14.2%
150~200世帯未満	16	17	15	10	18	22	13	20	131	9.0%
200~500世帯未満	39	38	59	49	40	38	22	51	336	23.1%
500~700世帯未満	11	5	5	13	14	3	2	3	56	3.8%
700~1000世帯未満	3	4	5	8	7	5	0	1	33	2.3%
1000世帯以上	0	0	1	8	1	1	1	0	12	0.8%
無回答	12	5	1	4	10	7	7	9	55	3.8%
合計	128	159	118	123	212	348	142	227	1457	100.0%

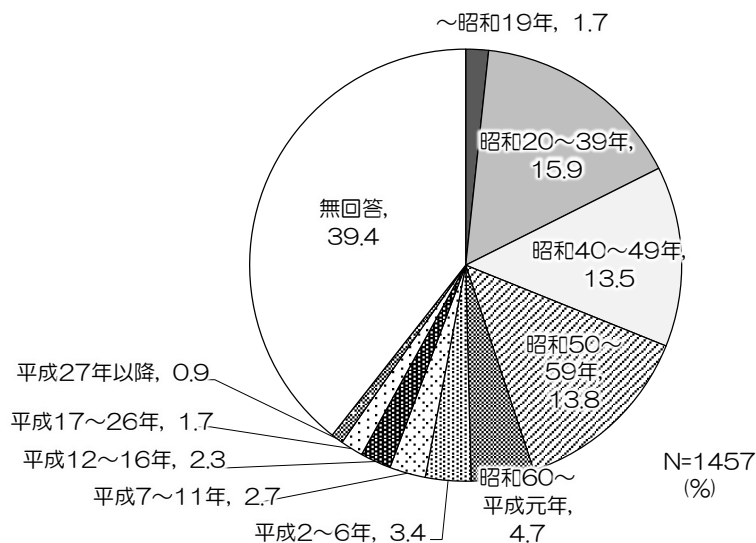
【町内会等の加入率】

- 「100%」が最も多く 19.7%、次いで「95～100%未満」が 15.2%、「80～90%未満」が 10.8%となっている。



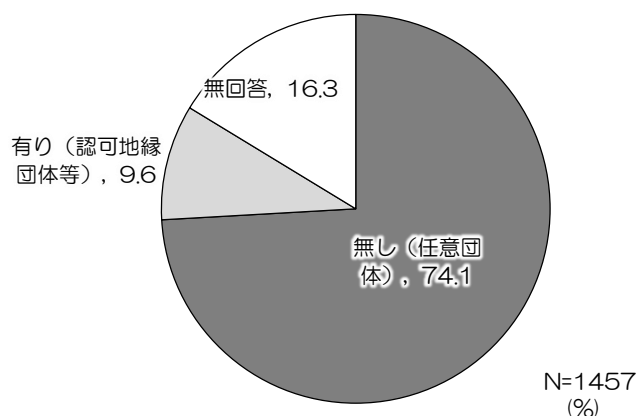
【設立時期】

- 回答があったもののうち、「昭和 20 年～39 年」が最も多く、次いで「昭和 50 年～59 年」、「昭和 40 年～49 年」の順となっている。



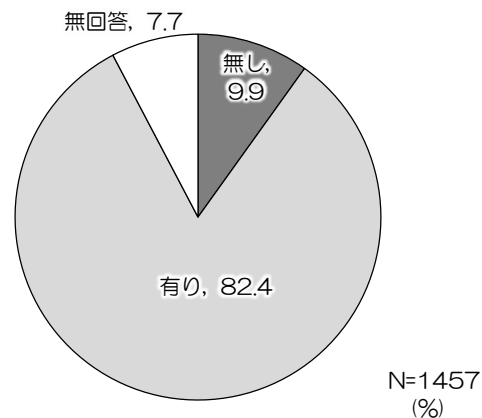
【法人格の有無】

- 「無し(任意団体)」が 74.1%、「有り(認可地縁団体等)」が 9.6%となっている。



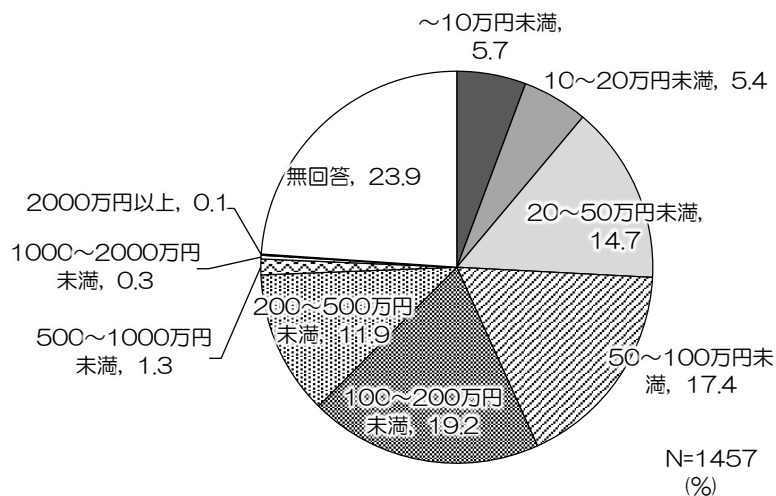
【規約の有無】

- 「有り」が 82.4%、「無し」が 9.9%となっている。



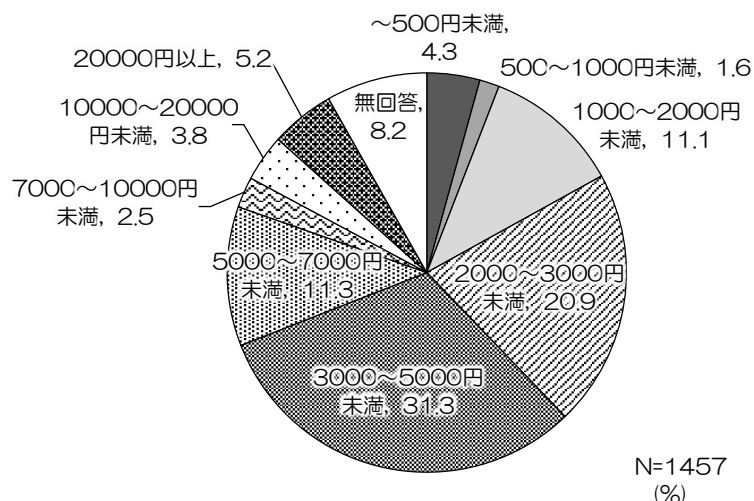
【決算額（直近の年度、一般会計）】

- 回答があったもののうち、「100～200万円未満」が最も多く、次いで「50～100万円未満」、「20～50万円未満」の順となっている。



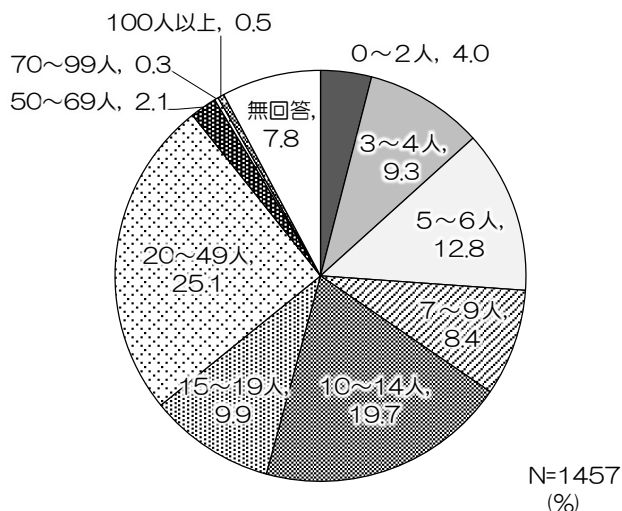
【会費（年額）】

- 「3000～5000円未満」が最も多く 31.3%、次いで「2000～3000円未満」が 20.9%、「5000～7000円未満」が 11.3%となっている。



【中心となって活動している人数】

- 「20～49人」が最も多く 25.1%、次いで「10～14人」が 19.7%、「5～6人」が 12.8%となっている。

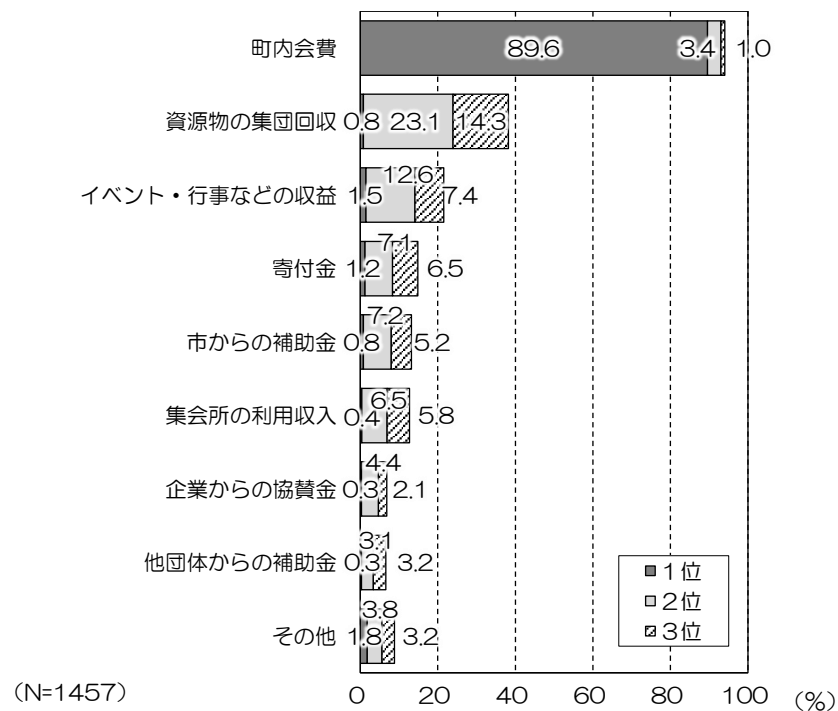


問 9. 町内会・自治会の収入源を教えてください。（該当するものすべてに○、また、多い順に3つまで回答欄に番号を記入） （注）「前年度からの繰越金」は収入に含めないでください。

1. イベント・行事などからの収益	6. 町内会費
2. 資源物（古紙、空き缶等）の集団回収	7. 企業からの協賛金
3. 市からの補助金	8. 他団体からの補助金
4. 集会所の利用収入	9. その他（具体的に ）
5. 寄付金	

回答欄	第 1 位	第 2 位	第 3 位
-----	-------	-------	-------

○ 「町内会費」が最も多く、次いで「資源物の集団回収」、「イベント・行事などの収益」の順となっている。



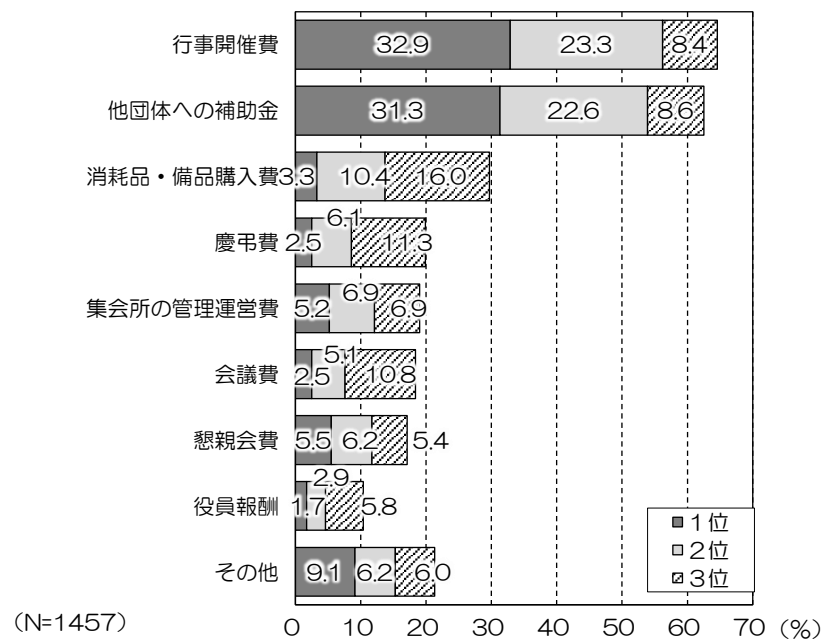
（注）無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 96.7%
 第2位 71.2%
 第3位 48.7%

問 10. 町内会・自治会の支出先を教えてください。（該当するものすべてに○、また、多い順に3つまで回答欄に番号を記入） （注）「次年度への繰越金」は支出に含めないでください。

1. 会議費	6. 慶弔費
2. 役員報酬	7. 他団体への補助金
3. 集会所の管理運営費	8. 行事開催費
4. 消耗品・備品購入費	9. その他（具体的に
5. 懇親会費	）

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 「行事開催費」が最も多く、次いで「他団体への補助金」、「消耗品・備品購入費」の順となっている。

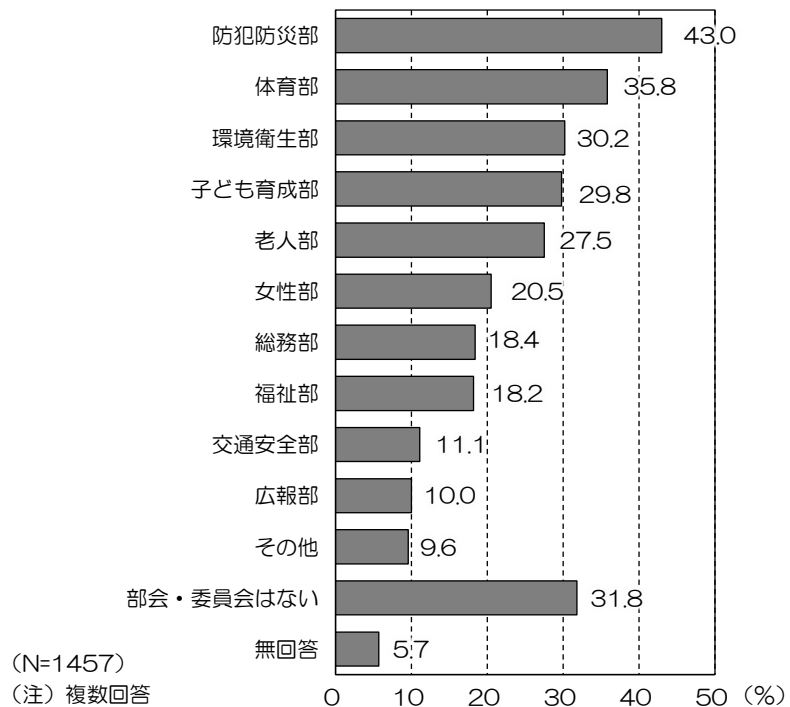


(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 94.0%
 第2位 89.7%
 第3位 79.2%

問 11. あなたの町内会・自治会には部会や委員会がありますか。（概ね名称などが該当するものすべてに○）

1. 総務部	5. 環境衛生部	9. 女性部
2. 広報部	6. 福祉部	10. 老人部
3. 防犯防災部	7. 体育部	11. その他（ ）
4. 交通安全部	8. 子ども育成部	12. 部会・委員会はない

○ 部会や委員会を設置しているもののうち、「防犯防災部」が最も多く、次いで「体育部」、「環境衛生部」の順となっている。

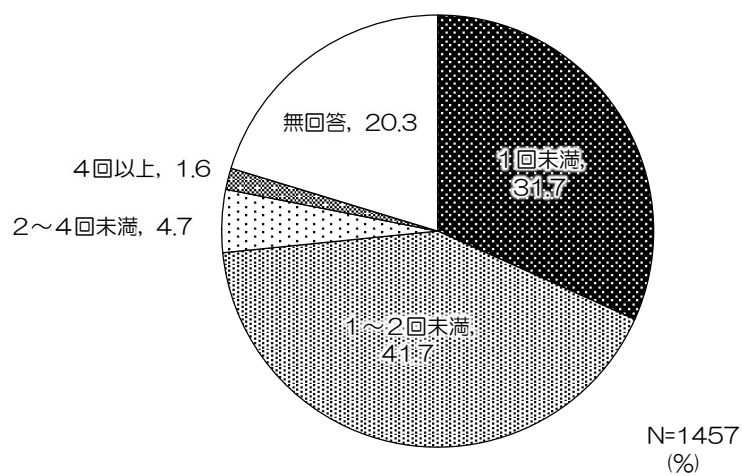


問 12. あなたの町内会・自治会の役員会の開催状況を教えてください。(それぞれ直接記入、または○)

会合の開催頻度	月に（ ）回程度	
1 回当たりの所要時間	（ ）時間程度	
開催日	平日 ・ 休日	
時間帯	1. 午前（概ね 9～12 時） 2. 午後（概ね 13～16 時）	3. 夕方（概ね 16～18 時） 4. 夜間（18 時以降）
主な出席者	1. 役員のみ（会長、部会長等） 2. 役員と事務局担当者	3. 役員と主な活動メンバー 4. 役員と地域団体関係者

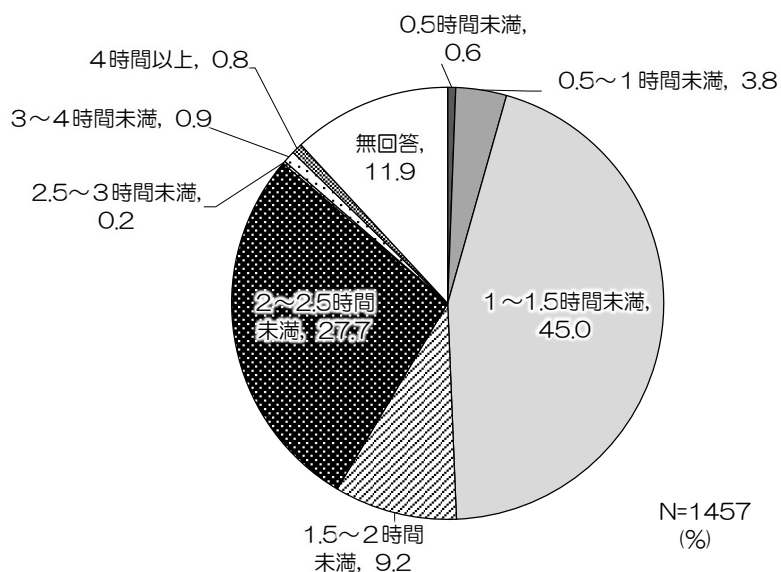
【1 月当たりの会合の開催頻度】

○ 「1～2 回未満」が最も多く 41.7%、次いで「1 回未満」が 31.7%となっている。



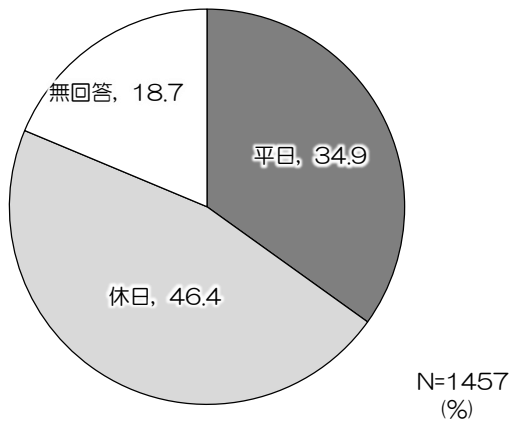
【1 回当たりの所要時間】

○ 「1～1.5 時間未満」が最も多く 45.0%、次いで「2～2.5 時間未満」が 27.7%となっている。



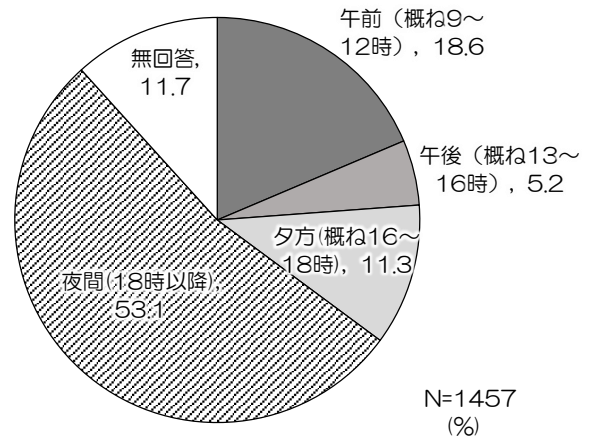
【開催日】

○ 「休日」が46.4%、「平日」が34.9%となっている。



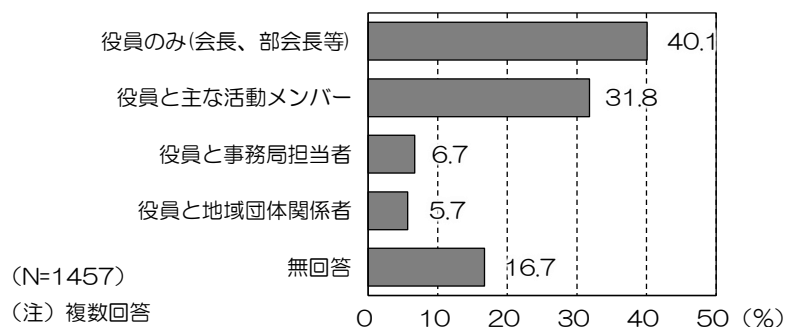
【時間帯】

○ 「夜間（18時以降）」が最も多く53.1%、次いで「午前（概ね9～12時）」が18.6%となっている。



【主な出席者】

○ 「役員のみ（会長、部会長等）」が最も多く40.1%、次いで「役員と主な活動メンバー」が31.8%となっている。



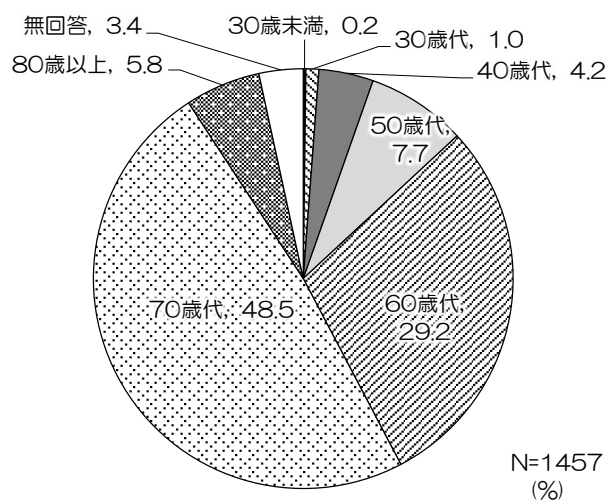
4. 町内会長・役員について

問 13. あなた（町内会・自治会長）の年齢・性別、役員の年齢のうち最も多い年代を教えてください。
（それぞれ1つだけ○）

（あなた（町内会・自治会長）の年齢）

1. 30歳未満	3. 40歳代	5. 60歳代	7. 80歳以上
2. 30歳代	4. 50歳代	6. 70歳代	

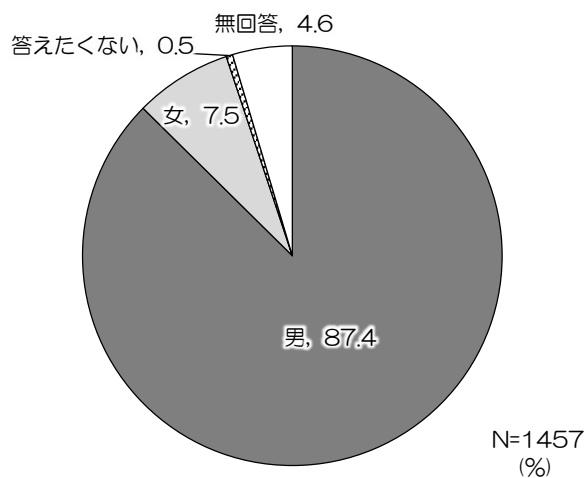
○ 「70歳代」が最も多く48.5%、次いで「60歳代」が29.2%、「50歳代」が7.7%となっている。



（あなた（町内会・自治会長）の性別）

1. 男	2. 女	3. 答えたくない
------	------	-----------

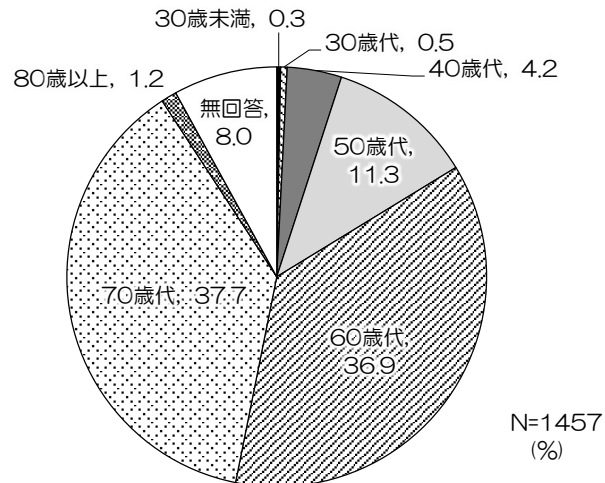
○ 「男」が87.4%、「女」が7.5%、「答えたくない」が0.5%となっている。



(役員の多い年齢)

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 30歳未満 | 3. 40歳代 | 5. 60歳代 | 7. 80歳以上 |
| 2. 30歳代 | 4. 50歳代 | 6. 70歳代 | |

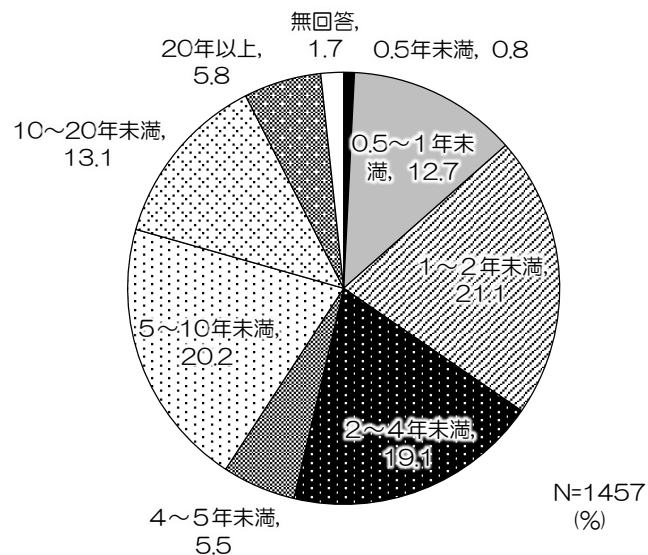
○ 「70歳代」が最も多く37.7%、次いで「60歳代」が36.9%、「50歳代」が11.3%となっている。



問 14. あなたが町内会・自治会長に就任されてから、どのくらい経過しましたか。概ねの年数を教えてください。

就任してから () 年

○ 2年未満が34.6%、5年以上が39.1%となっている。

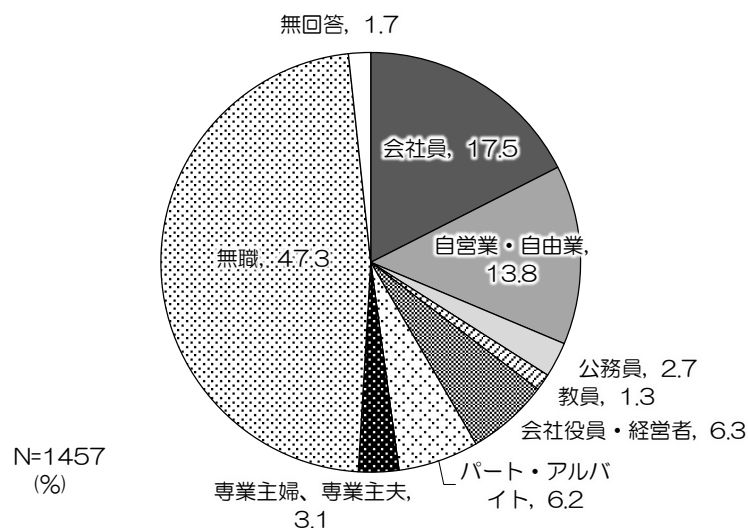


問 15. あなた（町内会・自治会長）の職業を教えてください。（主なもの1つに○）

1. 会社員
2. 自営業・自由業
3. 公務員
4. 教員
5. 会社役員・経営者
6. パート・アルバイト
7. 学生
8. 専業主婦、専業主夫
9. 無職（退職者の場合は退職前の職業の番号を記入してください（ ））

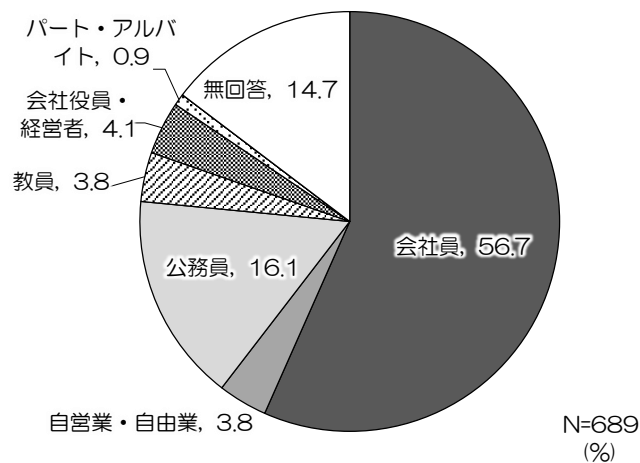
【職業】

○ 「無職」が最も多く 47.3%、次いで「会社員」が 17.5%、「自営業・自由業」が 13.8%となっている。



【退職前の職業】

○ 「会社員」が最も多く 56.7%、次いで「公務員」が 16.1%となっている。

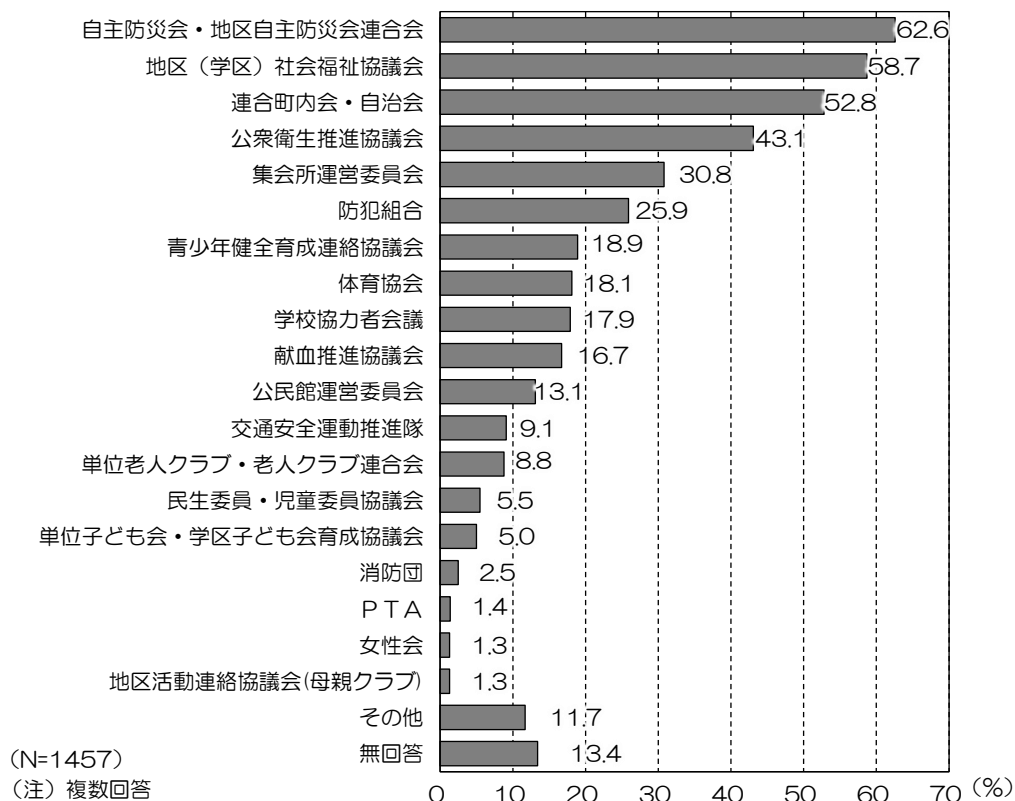


問 16. あなたが、町内会・自治会長以外に兼任されている地域団体等の役員を教えてください。（該当するものすべてに○）また、その役員は町内会・自治会長になったために就任しなくならなかったものですか。（充て職かどうか）（該当するものすべてに○）

団体名	兼任	うち充て職
1. 連合町内会・自治会		
2. 地区（学区）社会福祉協議会		
3. 自主防災会・地区自主防災会連合会		
4. 公衆衛生推進協議会		
5. 青少年健全育成連絡協議会		
6. 献血推進協議会		
7. P T A		
8. 単位子ども会・学区子ども会育成協議会		
9. 単位老人クラブ・老人クラブ連合会		
10. 女性会		
11. 地区活動連絡協議会（母親クラブ）		
12. 体育協会		
13. 消防団		
14. 防犯組合		
15. 交通安全運動推進隊		
16. 民生委員・児童委員協議会		
17. 集会所運営委員会		
18. 学校協力者会議		
19. 公民館運営委員会		
20. その他（具体的に		

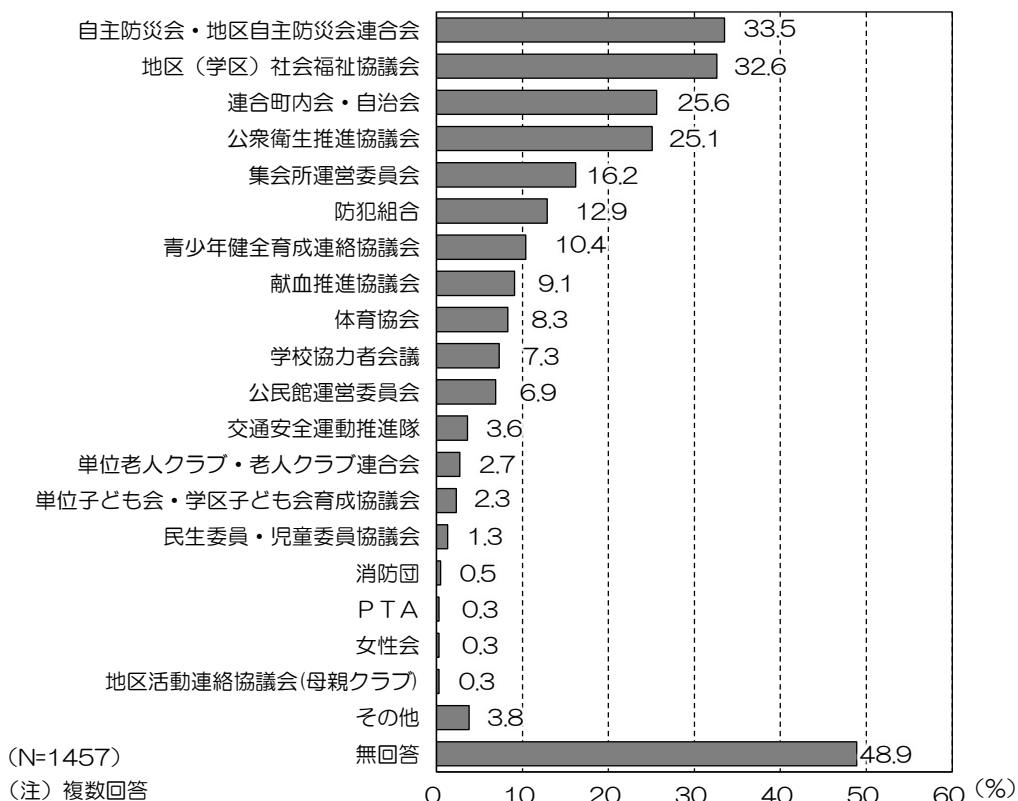
【役員を兼任している地域団体等】

○ 「自主防災会・地区自主防災会連合会」が最も多く62.6%、次いで「地区（学区）社会福祉協議会」が58.7%、「連合町内会・自治会」が52.8%となっている。



【充て職】

○ 役員の兼任について、「自主防災会・地区自主防災会連合会」で33.5%、「地区（学区）社会福祉協議会」で32.6%、「連合町内会・自治会」で25.6%が充て職となっている。

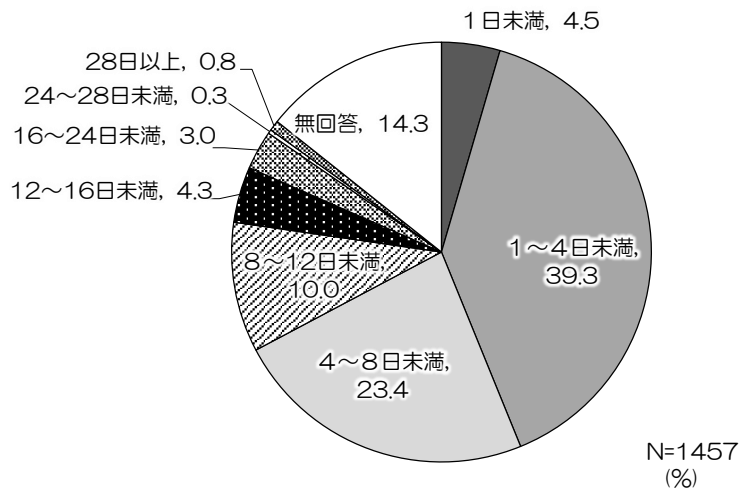


5. 役員の業務について

問 17. あなたは、町内会活動及び兼務している地域団体の活動に月何日程度従事していますか。

月に（ ）日程度従事している

○ 「1～4日未満」が最も多く 39.3%、次いで「4～8日未満」が 23.4%となっている。

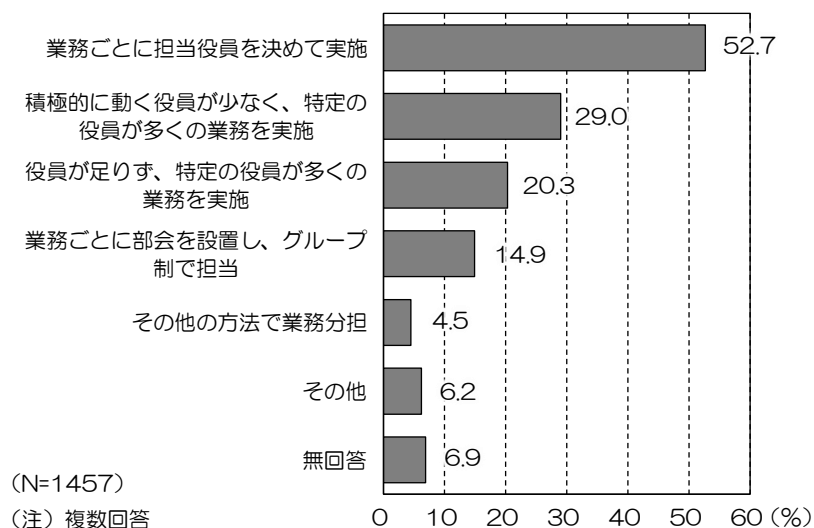


問 18. あなたの地域の町内会・自治会における、町内会業務の役員間の分担状況を教えてください。

(該当するものすべてに○)

1. 業務ごとに部会を設置し、責任者を中心としたグループ制で担当している
2. 業務ごとに担当役員を決めて実施している
3. その他の方法で業務分担している(具体的に:)
4. 役員の数が入り不足、特定の役員が多くの業務を行っている
5. 積極的に動く役員が少なく、特定の役員が多くの業務を行っている
6. その他(具体的に:)

○ 「業務ごとに担当役員を決めて実施」が最も多く 52.7%、次いで「積極的に動く役員が少なく、特定の役員が多くの業務を実施」が 29.0%、「役員が入り不足、特定の役員が多くの業務を実施」が 20.3%となっている。

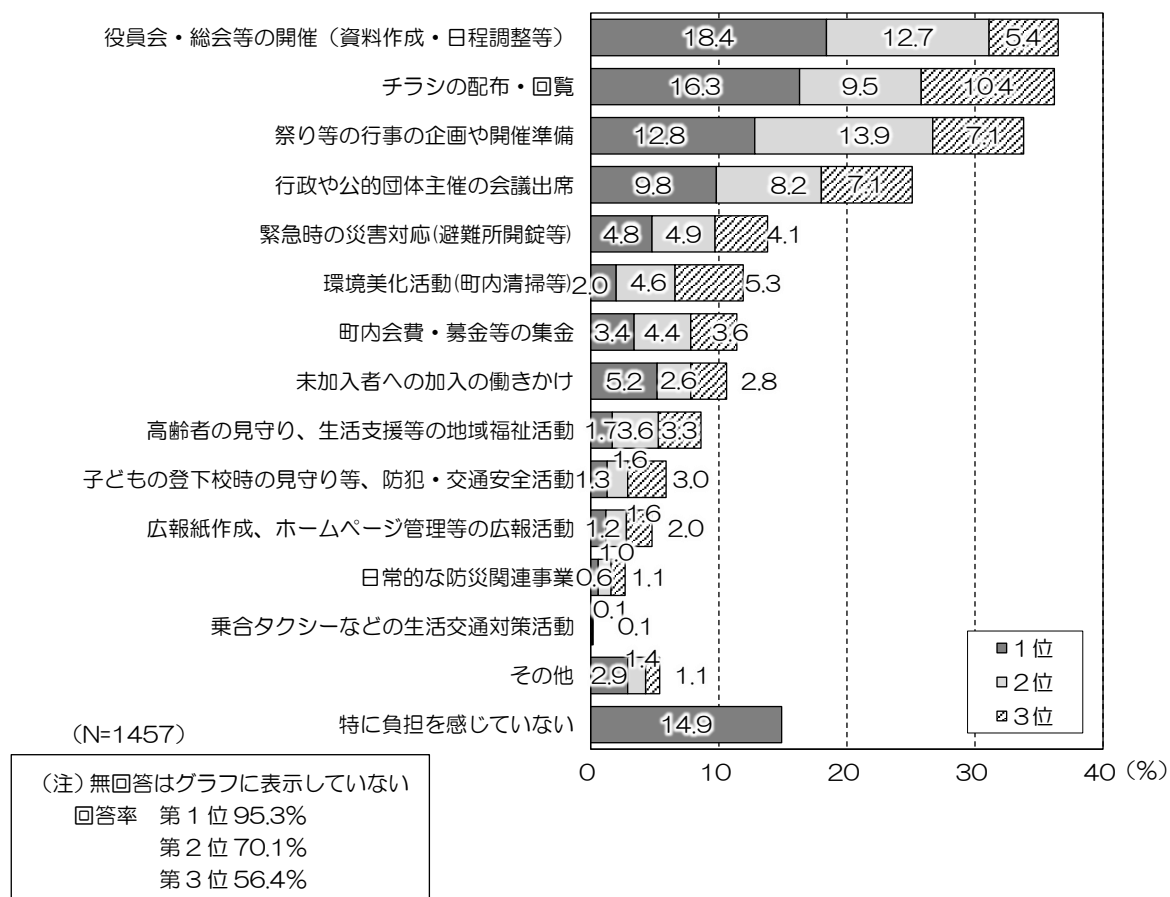


問 19. 町内会・自治会役員の業務のうち、あなたが特に負担に感じているものを教えてください。（負担に感じている順に3つまで回答欄に番号を記入）

1. チラシの配布・回覧
2. 役員会・総会等の開催（資料作成・日程調整等）
3. 広報紙の作成、ホームページ管理等の広報活動
4. 祭り等の行事の企画や開催準備
5. 行政や公的な団体が主催する会議への出席
6. 町内会費・募金等の集金
7. 未加入者への加入の働きかけ
8. 緊急時の災害対応（避難所の開設など）
9. 日常的な防災関係事業（防災マップの作成など）
10. 高齢者の見守り、生活支援等の地域福祉活動
11. 乗合タクシーなどの生活交通対策活動
12. 子どもの登下校時の見守り等、防犯・交通安全活動
13. 環境美化活動（町内清掃等）
14. その他（具体的に
15. 特に負担を感じていない

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 「役員会・総会の開催（資料作成・日程調整）」が最も多く、次いで「チラシの配布・回覧」、「祭り等の行事の企画や開催準備」の順となっている。



問 20. 上記の業務が「特に負担である」と選択した理由について、差し支えない範囲でお聞かせください。（直接記入）

理由

【回答の一部】

（業務について）

- ・業務に伴うデータ処理、各役員会・総会・行事等の資料準備に時間を要す。
- ・役員会、総会開催にあたって事前準備にかなりの時間がとられる。
- ・日程調整、資料作りなど、段取りに労力がかかりすぎる。
- ・資料作成、日程調整等が難しいので負担である。
- ・近隣町内会との連絡調整などが難しい。各町内会のやり方がある。
- ・町内会員の高齢化はありますが、平日は仕事に従事されている方が多いため、時間が取れない。
- ・仕事との両立が大変。
- ・仕事をしながらなので、休日、平日などの集まりに参加できないことがあり、代理を頼むのに負担がある。
- ・各団体への出席回数が多く、月によっては土日のいずれかが全て拘束される。また、招集が直近となることが多く、自分の予定が立て難い、又は代理出席の調整時間もなく自分の予定をキャンセルしなければならない等、時間確保が負担であり無理のない範囲で活動できることが望まれる。
- ・自治連、社協、敬老会、運動会、献血等出席を求められることが多く、ほぼすべてに自治会長が参加する必要があり負担に感じる。その他盆踊り、秋の祭り、JA 関係の行事も多く、自分の時間が取れない。
- ・出席しなければならない会議が多すぎる。
- ・年間を通じて事業が多すぎる。
- ・会長に業務が集中している。
- ・充て職が多い。
- ・積極的な意見が出ず、結局自分が考え、企画し、承認を得ることばかりで、心理的な負担になる。
- ・自治会の運営面において、要求が多く、処理に困る。
- ・様々な意見がある中で、それらを集約し合意を形成していくことに負担を感じる。
- ・ゴミ出しのマナーが悪く、ゴミ捨て場や周辺の不法投棄が後を絶たない。自分のところの住人ではなく、よそからの不法投棄がほとんどだ。ゴミ出しの日のたびにその対処におわれる。
- ・ゴミ搬出にあたって、分別日が守られていないため、管理しなくてはいけない。
- ・高齢者の見守りについては、プライバシーの配慮など、気配りに負担を感じる。
- ・町内連絡網が作りにくい（プライバシー問題）。
- ・お金に関することであり募金集めに不満・苦情が多い。体力的に暑い時期は苦しい。
- ・町内会費等でマンションで個人加入など集金は時間がかかる。

（回覧・配布物について）

- ・回覧を要する書面の到着日がまちまちで、回覧を回した直後に急を要するものが届くなど、非常に煩雑だ。苦勞して配っても読む者も少ない。
- ・配布部数が多い。毎月末は全戸分折り込み作業があり、特に負担だ。
- ・回覧の回数が多く回すのが大変
- ・留守が多く、何回も訪問する。各自治体からの配布資料が多すぎる。

（入会促進について）

- ・マンション住民の町内会への未加入者が多く加入促進に苦勞している。
- ・全世帯数に対して町内会加入が少ない。子供会には入会しているが、町内会には入会しない世帯がある。マンションは多いが、協力が得られない（組合等）。
- ・加入者が年々減っており、その解決策が見当たらない。また町内会費が減ってきており増額を検討したが賛同が得られない。
- ・加入してもメリットがないと言われる。プライバシーの保護という点から公にしたくないという。
- ・町内会入会を働きかけても何のメリットがあるのか聞かれ、なかなか入会してもらえない。せっかく入会しているのに退会する人が多くなった。
- ・強制ではないのを前提に話をすることが難しい。
- ・無関心な人が多い。

（災害時について）

- ・最も大きな負担は緊急時の災害対応で避難所の開錠である。日常においても常に緊張している。
- ・避難所の開錠（特に夜間）が困難。
- ・最近の災害は突発的で規模が大きく避難場所や避難のタイミングの周知が一律的にできにくい。
- ・住民が避難行動を起こさない。
- ・災害時（避難指示が出た際）、声掛けに応じない高齢者に対する説得作業は負担になる。

（高齢化・人手不足について）

- ・祭準備等手伝っていただく人が高齢者が多い。
- ・高齢化が進み協力してくれる人が少ない。
- ・協力していただけないことが多い。
- ・行事参加への積極性が乏しい。
- ・行事に関わっている方が、毎年同じ方で、高齢になってやめたくてもやめられず、代わりの人が育たない。一度関わると抜けられないのでやりたくない。
- ・住民が高齢化して交代できる人的余裕がなく、永く勤めざるを得なく心身ともに疲れている。少人数で町運営を担わなければならない。
- ・下校時の子どもを見守っているが、見守りメンバーが少ないために負担とを感じる。
- ・地域福祉活動は幅が広く何を具体的にやるべきか見当がつかない。同時に担い手に苦勞する。
- ・次の役員になる人がいない。
- ・1年に1回役員を決めているが、毎年もめている。嫌で引越す人もいる。
- ・役員の決定が難しい。

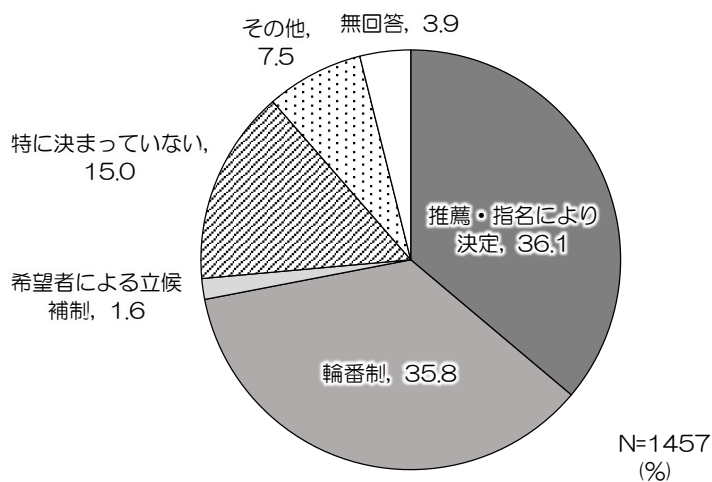
6. 町内会の役員確保について

問 21. あなたの町内会・自治会では、どのような方法で役員を決定していますか。（1つだけ○）

1. 推薦・指名により決定している
2. 輪番制である→（ 年ごとに交代、最長 年間まで可能） ⇒問 23 へ
3. 希望者による立候補制としている
4. 特に決まっていない
5. その他（具体的に ）

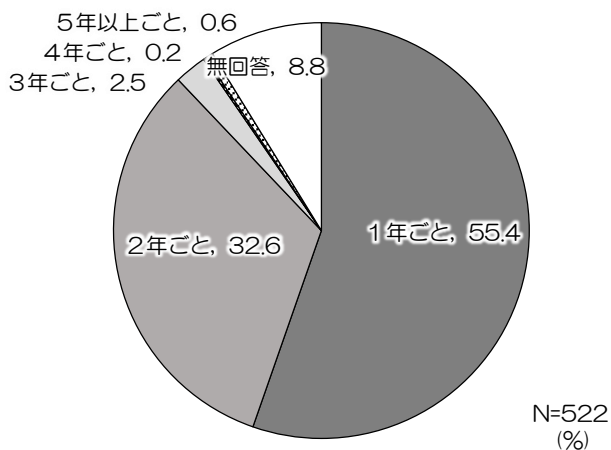
【役員の決定方法】

○ 「推薦・指名により決定」が最も多く 36.1%、次いで「輪番制」が 35.8%、「特に決まっていない」が 15.0%となっている。



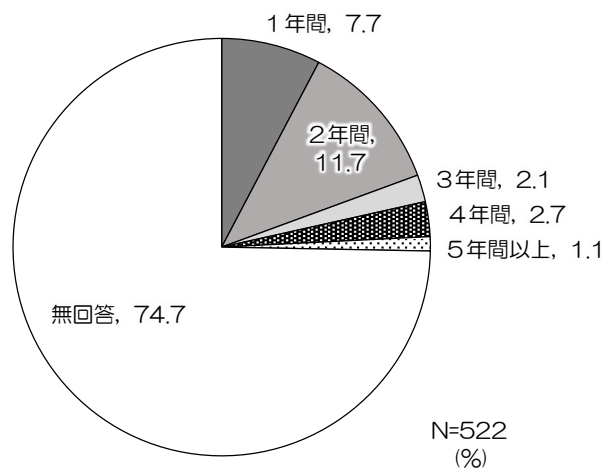
【輪番制の交代周期】

○ 「1年ごと」が最も多く 55.4%、次いで「2年ごと」が 32.6%となっている。



【輪番制の就任可能期間】

○ 回答があったもののうち、「2年間」が最も多くなっている。

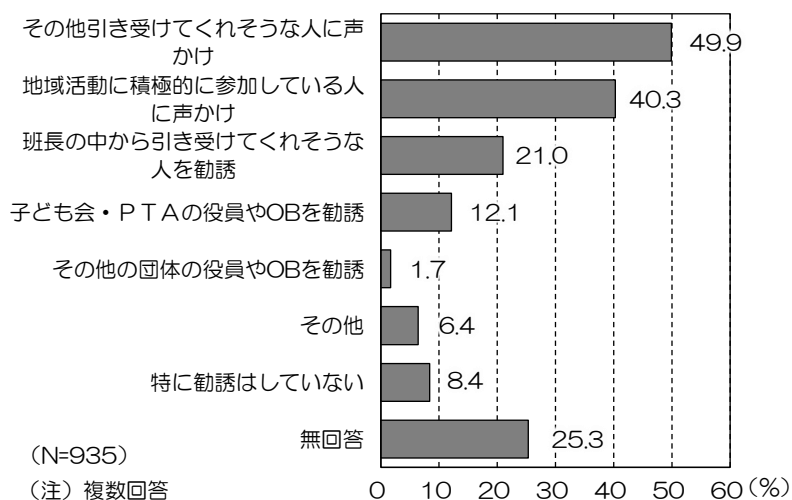


問 22. 輪番制以外の方にお聞きします。あなたの町内会・自治会では、役員をどのように勧誘していますか。また、50 歳代以下の方の勧誘に効果がある方法があれば、教えてください。（該当するものすべてに○、また、その中で最も効果があったと思うものに◎）

勧誘方法	全年代	うち 50 歳代以下
1. 班長の中から引き受けてくれそうな人を勧誘した		
2. 子ども会・PTAの役員やOBを勧誘した		
3. その他の団体（ ）の役員やOBを勧誘した		
4. 地域活動に積極的に参加している人に声をかけた		
5. その他、引き受けてくれそうな人に声をかけた		
6. その他（具体的に： ）		
7. 特に勧誘はしていない		

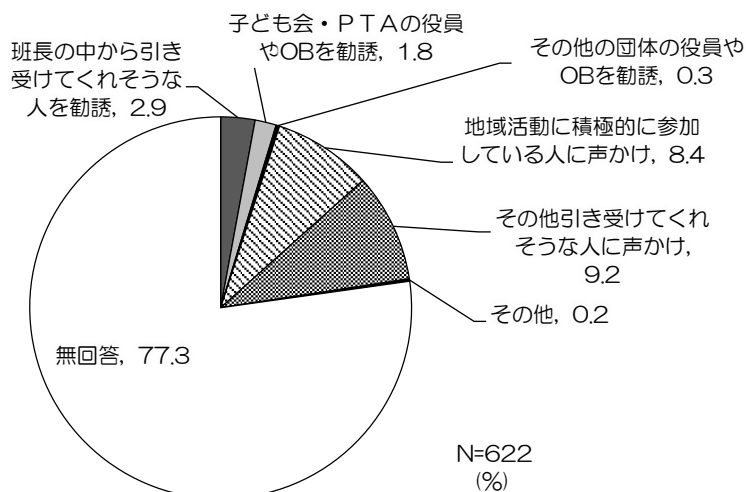
【役員の勧誘方法（全年代）】

○ 「その他引き受けてくれそうな人に声かけ」が最も多く、次いで「地域活動に積極的に参加している人に声かけ」の順となっている。



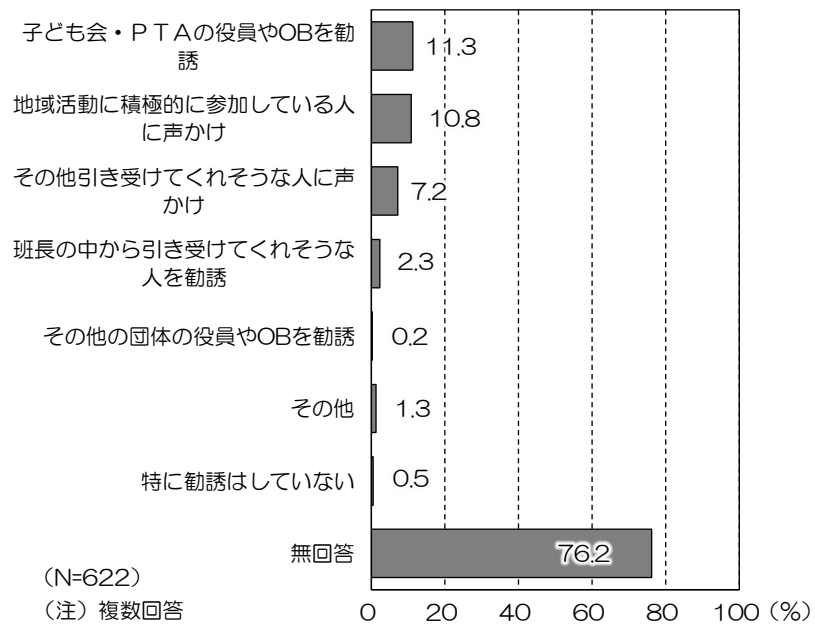
【役員の勧誘方法(全年代、最も効果あり)】

○ 回答があったもののうち、「その他引き受けてくれそうな人に声かけ」が最も多くなっている。



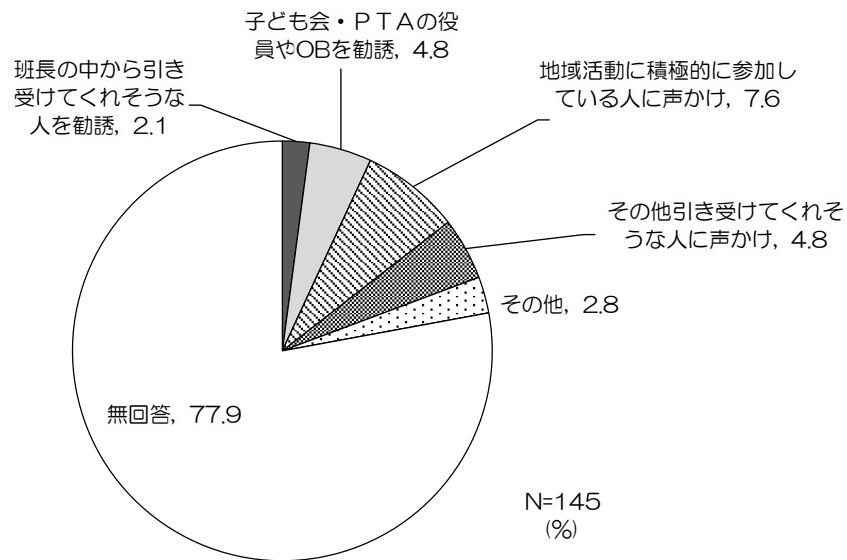
【役員の勧誘方法(50 歳代以下)】

○ 「子ども会・PTAの役員やOBを勧誘」が最も多くなっている。



【役員の勧誘方法(50 歳代以下、最も効果あり)】

○ 回答があったもののうち、「地域活動に積極的に参加している人に声かけ」が最も多くなっている。



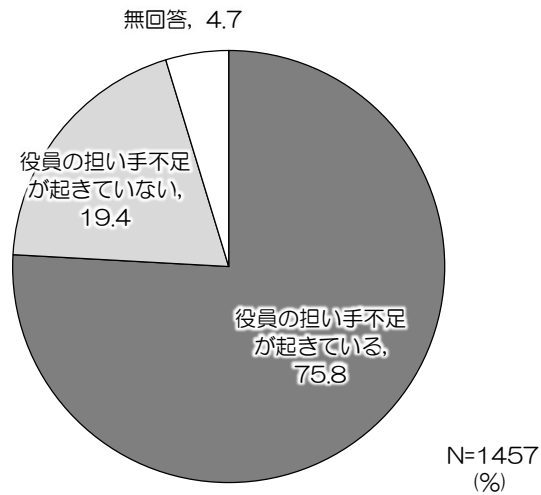
問 23. あなたが町内会・自治会長を務めている地域では、役員の担い手不足が起きていますか。(1つだけ○)

1. 役員の担い手不足が起きている

2. 役員の担い手不足が起きていない

⇒問 25へ

○ 「役員の担い手不足が起きている」が 75.8%、「役員の担い手不足が起きていない」が 19.4%となっている。

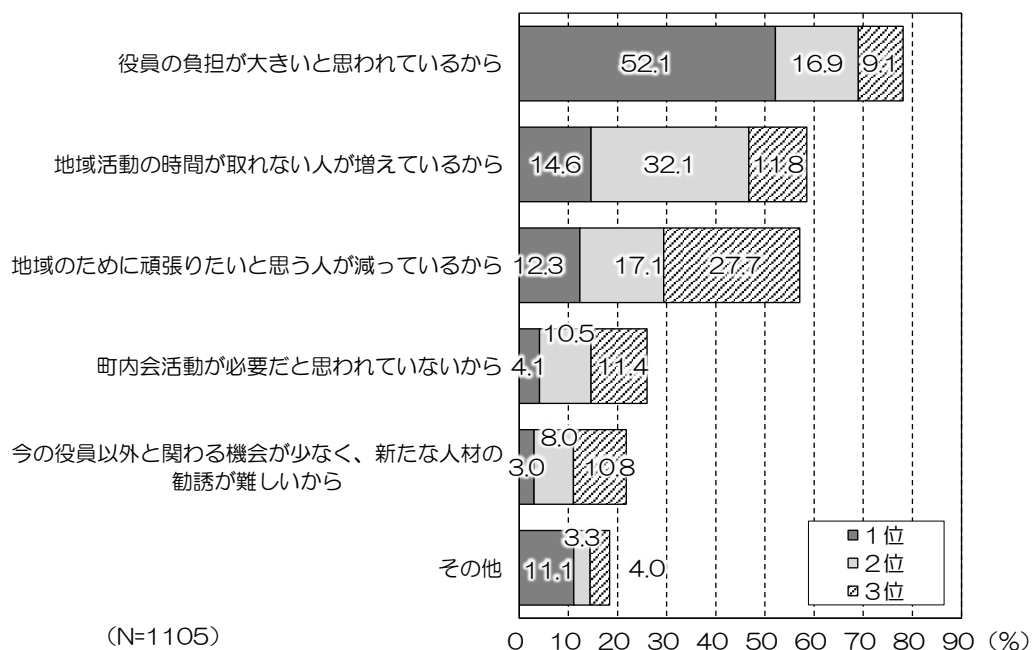


問 24. 「担い手不足が起きている」と答えた方にお聞きます。その原因は何だと思えますか。（原因だと感じている順に3つまで回答欄に番号を記入）

1. 役員の負担が大きいと住民に思われているから
2. 地域活動を行うための時間が取れない人が増えているから
3. 今の役員以外と関わる機会が少なく、新たな人材の勧誘が難しいから
4. 住民から町内会活動が必要だと思われていないから
5. 地域のために頑張りたいと思う人が減っているから
6. その他（具体的に

回答欄	第 1 位	第 2 位	第 3 位
-----	-------	-------	-------

○ 「役員の負担が大きいと思われているから」が最も多く、次いで「地域活動の時間が取れない人が増えているから」、「地域のために頑張りたいと思う人が減っているから」の順となっている。



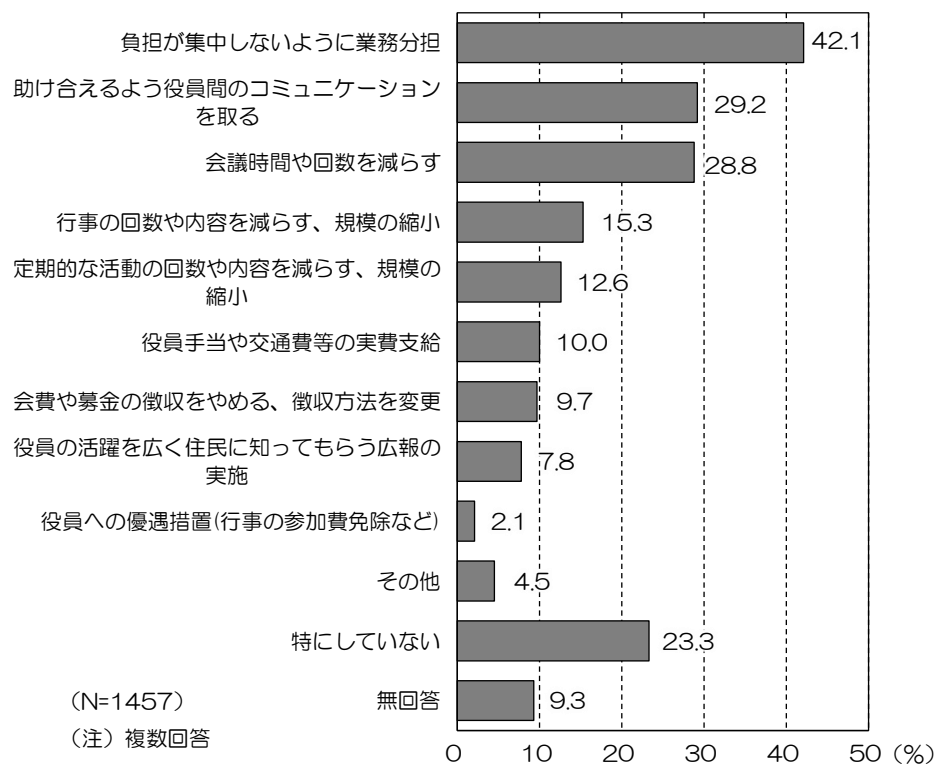
(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第 1 位 97.2%
 第 2 位 87.9%
 第 3 位 74.8%

問 25 あなたの町内会・自治会では、役員の負担軽減や意欲向上のために、どんな対策を行っていますか。（該当するものすべてに○、また、その中で最も効果があったと思うものに◎）

対策	該当するもの	最も効果があったもの
1. 特定の役員に負担が集中しないよう、しっかり業務分担する		
2. 行事（敬老会、運動会など）の回数や内容を減らす、または規模を縮小する		
3. 定期的な活動（町内清掃など）の回数や内容を減らす、または規模を縮小する		
4. 会議時間や回数を減らす		
5. 町内会費や募金の徴収をやめる、または徴収方法を変更する		
6. 役員に手当や交通費等の実費を支給する		
7. お互い助け合えるよう、役員間のコミュニケーションをしっかりと取る		
8. 役員の活躍を広く住民に知ってもらう広報を定期的に行う		
9. 役員への優遇措置を行う（行事の参加費免除など）		
10. その他 （具体的に ）		
11. 特にしていない		

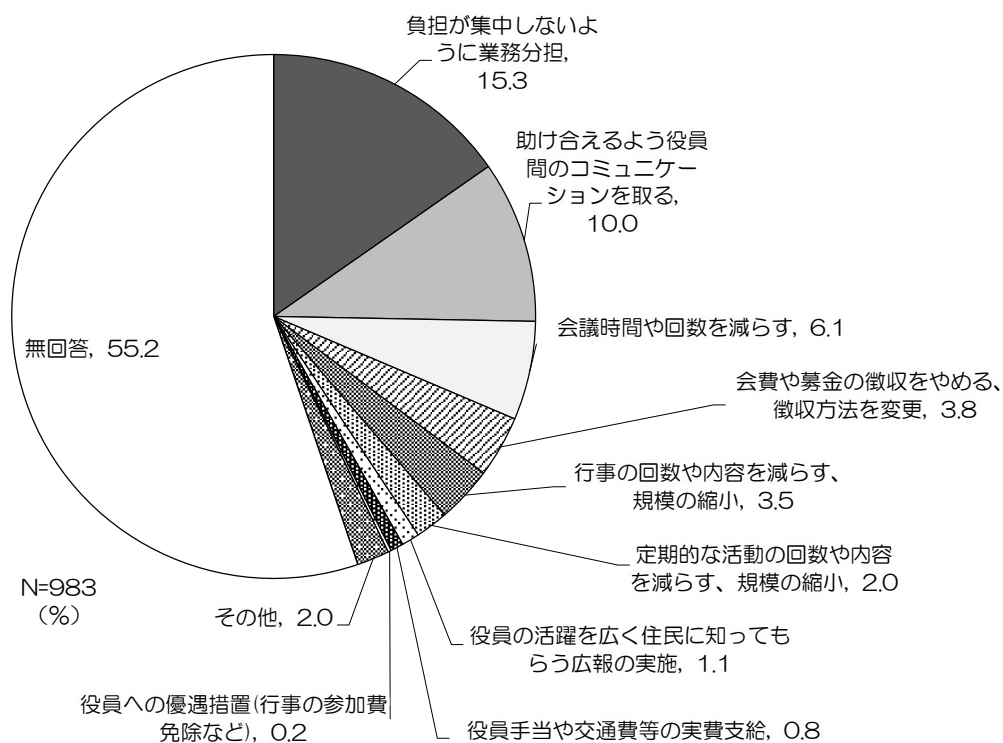
【該当するもの】

○ 「負担が集中しないように業務分担」が最も多く、次いで「助け合えるよう役員間のコミュニケーションを取る」、「会議時間や回数を減らす」の順となっている。



【最も効果があったもの】

○ 回答があったもののうち、「負担が集中しないように業務分担」が最も多く、次いで「助け合えるよう役員間のコミュニケーションを取る」、「会議時間や回数を減らす」の順となっている。



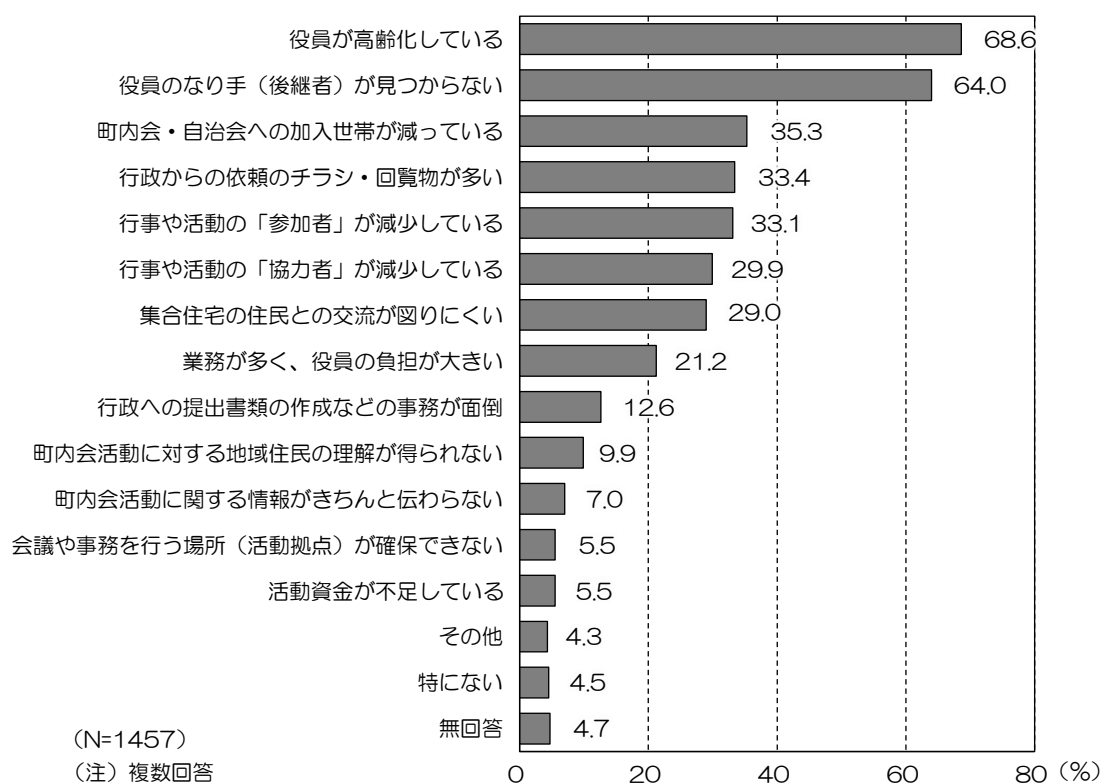
7. 町内会の運営について

問 26. 町内会・自治会を運営する上で、困っていることは何ですか。（該当するものすべてに○、また、その中で最も困っていることに◎）

困っていること	該当するもの	最も困っているもの
1. 役員のなり手（後継者）が見つからない		
2. 役員が高齢化している		
3. 業務が多く、役員の負担が大きい		
4. 会議や事務を行う場所（活動拠点）が確保できない		
5. 活動資金が不足している		
6. 行政への提出書類の作成などの事務が面倒		
7. 行政からの依頼のチラシ・回覧物が多い		
8. 祭り等の行事や、防犯・防災活動の「参加者」が減少している		
9. 祭り等の行事や、防犯・防災活動の「協力者」が減少している		
10. 町内会・自治会への加入世帯が減っている		
11. 町内会活動に関する情報がきちんと伝わらない		
12. 町内会活動に対する地域住民の理解が得られない		
13. 集合住宅（マンション等）の住民との交流が図りにくい		
14. その他（具体的に ）		
15. 特にない		

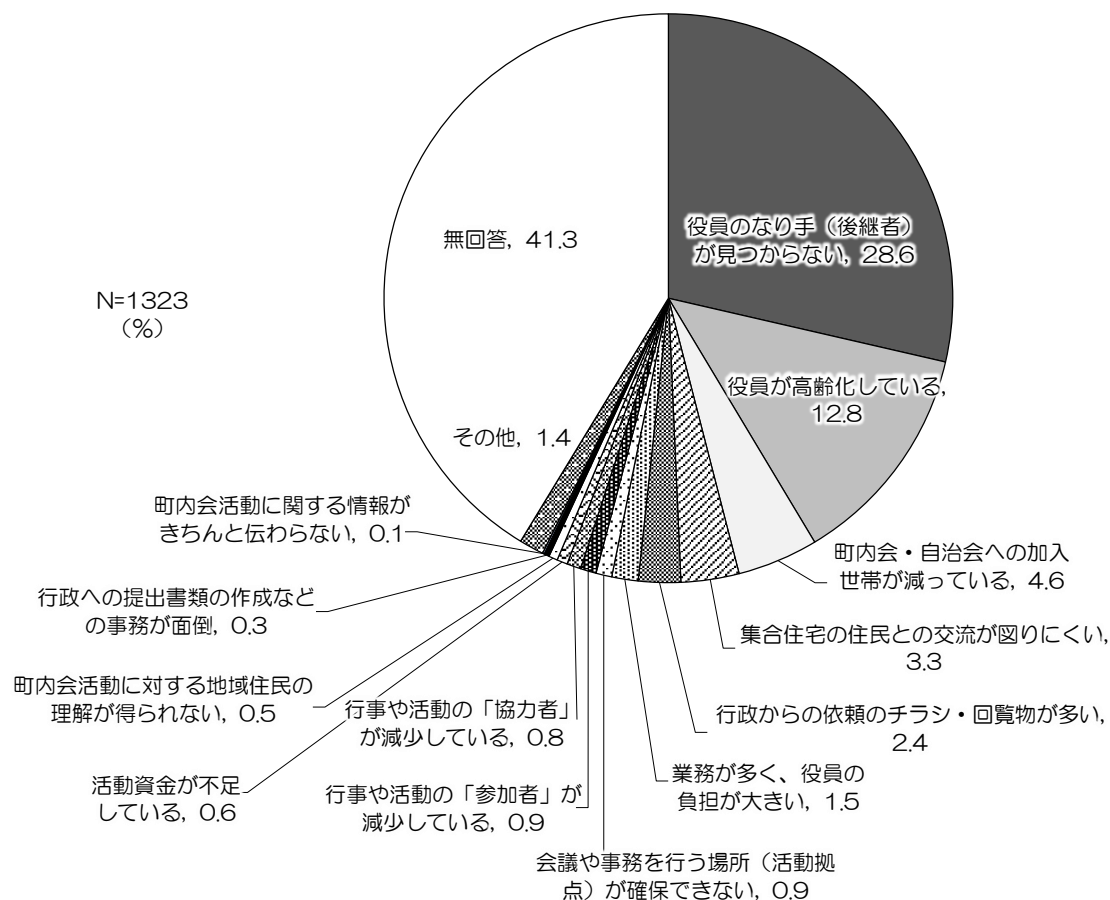
【該当するもの】

○ 「役員が高齢化している」が最も多く、次いで「役員のなり手（後継者）が見つからない」、「町内会・自治会への加入世帯が減っている」の順となっている。



【最も困っているもの】

- 回答があったもののうち、「役員のなり手（後継者）が見つからない」が最も多く、次いで「役員が高齢化している」、「町内会・自治会への加入世帯が減っている」の順となっている。



問 27. 運営上の困りごとを解決するために、あなたの町内会・自治会で行っている対策があれば、差し支えない範囲で教えてください。（直接記入）

対策

【回答の一部】

（コミュニケーション・情報共有について）

- ・地域内での情報は、最低限役員と共有するよう努めている。
- ・役員会議等を年 3 回くらい開催しコミュニケーション（情報交換）を図っている。
- ・3 役会議を随時開催し、対策対応を検討している。
- ・町内会役員会にて問題点を公表しあう。プライバシーが絡む場合は、それぞれの部会で話し合う。
- ・各役員から発言を求め、トップダウン、ボトムアップを図っている。
- ・月 1 回喫茶店に集合して学区の報告や地域の行事等を話す。町内会は、行事や学校・地域の内容・ニュースを共有することが大切だと思います。
- ・早めの会議と役員会実施。

- ・独自行事を開催し、各世代の人々が集まってコミュニケーションをとれるようにしている。問題が発生した場合、役員へメールで情報を伝え、対応を早急にとるようにしている。
- ・コミュニケーションの場を多く設ける。その場で顔見知りになる。そして町内会の理解者を増やす。
- ・住民同士が気軽に集まれるようなイベント・企画を実施している。（夏祭り・公園清掃など）
- ・3世代交流行事（餅つき、グランドゴルフ、体育祭、祭など）を通じて若年層への伝承を図っている。
- ・できるだけ町内会組織の一番小さい単位である班の中の話し合い（コミュニケーションをとる）などをしてもらっている。班長・組長（輪番制）の選出・ごみ捨て場（ステーション）のことなど。
- ・日頃より会員の皆様の声を聞くようにしている。
- ・地域の人の話を丁寧に聞く。
- ・要支援者名簿の作成、自宅訪問。
- ・前会長もそうであったように、地域の人全員の顔と名前を覚える努力をしています。それがコミュニケーションの発展につながるから。
- ・意見を否定するのではなく、聞き入れ、役員で検討する。
- ・反対意見を述べるだけでなく、代替案・提案を準備して発言するように。
- ・会議の雰囲気や和らげるように話しやすい会場づくりをしたり、みなさんの興味ある話を取り入れて会議を進める。
- ・情報提供をこまめに行う。
- ・マンション等が多いのでなんでも文書にして個別に配付しています。
- ・役員の方々が町民の方に町内行事の参加の声掛けをする。出来るだけ多くの方に参加を促す。
- ・今年は「生活避難場所運営マニュアル」を各家庭に配布し、緊急時の連絡先、一世帯人数を確認した。災害時は町内会での助け合いが必要となる認識を広めるため。

（役員について）

- ・積極的に役員をする人が少ないため、輪番制にしている。町内会未加入者に対する対応を検討中。
- ・副会長は次期会長になることを説明し、仕事をマニュアル化し、一年間の仕事の流れがわかるよう引継ぎファイルをつくり、見てもらっている。
- ・三役に補佐を付けた。（引っ越してきたばかりの人や経験が足りなくて自信のない人が、三役になったりする）
- ・前役員を現相談役として残ってもらっている。
- ・役員になってくれそうな人に話しかけている。コミュニケーションを大切にしている。
- ・役員の高齢化問題であり若い人に声掛けを行っている。
- ・高齢者世帯には役員を回さない。行事は役員が均等に負担するようにしている。
- ・役員会の回数を減らし、開催時間を極力短くする。

（回覧について）

- ・回覧の紙面の最後に見た月日とサインを記入してもらおう。紙面の左上に「必ず読んでください」と記入して回覧する。
- ・小さな困りごとをできるだけ見逃さずに、たとえ遅くなっても対応する。盗みなどの軽犯罪事件が発生したら、すぐに回覧板で会員に周知するよう心掛けている。

- ・急いでない回覧は即日回覧せず1～2週間待って追加ができればまとめて回覧できる。
- ・チラシをなるべくまとめる。

（未加入者について）

- ・町内会未加入住居への地域行事、町内会行事、子供会行事等の情報提供。また、町内通信（回覧）を月一回配布。
- ・町内会未加入宅へ年1回促進のチラシを入れる。
- ・加入世帯の減少を少なくする。高齢化、死亡で空家や売家となり、新築家屋へ子供のいる若い世帯が転居してきたときに、町内会加入の勧誘に何度も家庭訪問をする。

（その他）

- ・行事を最小限にすることに加え、極力、複数の行事を同一日に集約するなどの会員の参加回数の負担軽減に努めている。また、清掃等の子供参加者には参加継続のためのインセンティブを付与している。
- ・高齢に伴い町内清掃を毎月1回を2か月に1回に変更。互いに役員の助け合いの精神で実施している。
- ・他の町内会・自治会の情報をインターネットで検索して、参考にしている。
- ・前担当者または経験者、他地域の担当者の意見や指示を受ける。
- ・行事を実施する場合、役員だけでなく有志による実行委員会を作り、若い人にも積極的に参加していただいている。
- ・子供会がやっていた行事を町内会でやるようにした（ラジオ体操等）。
- ・町内の皆さんに協力してもらうため、必要な時はできるだけ掲示板を活用している。
- ・ゴミの出し間違い。担当者が確認し、間違いがあれば張り紙をしたり、持ち帰ってもらう。

8. 町内会の活動について

問 28. あなたの町内会・自治会で行っている活動を教えてください。(①～④それぞれ主なもの3つまで、番号を直接記入)

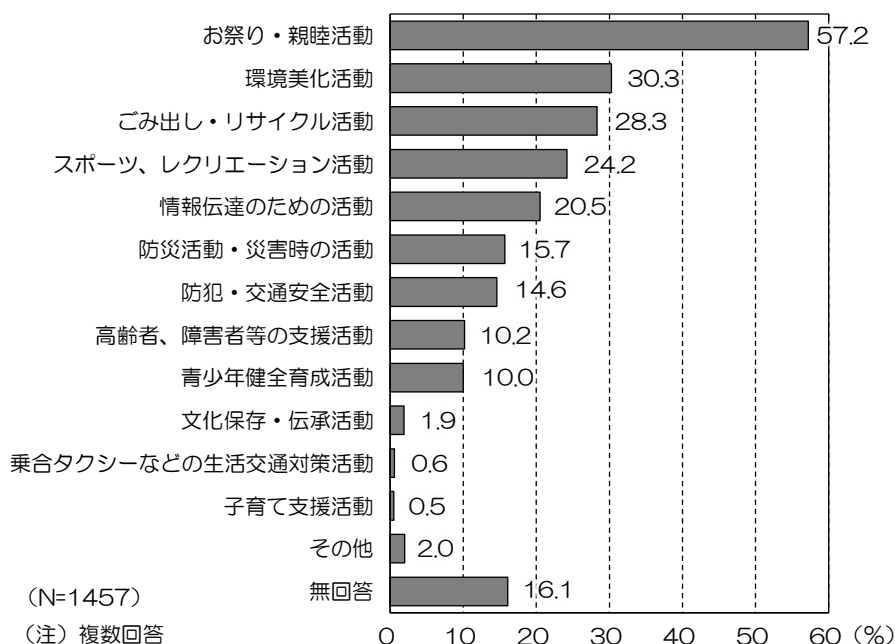
1. お祭り・親睦活動（夏祭り、とんど、新年会など）
2. スポーツ、レクリエーション活動（運動会、スポーツ大会など）
3. ごみ出し・リサイクル活動（ごみステーションの管理、資源回収）
4. 環境美化活動（公園・道路の清掃、花壇整備など）
5. 防犯・交通安全活動（防犯パトロールなど）
6. 防災活動・災害時の活動（防災訓練、避難所運営など）
7. 青少年健全育成活動（登下校時の見守り、あいさつ活動、子ども会活動）
8. 子育て支援活動（乳幼児保育への支援など）
9. 高齢者、障害者等の支援活動（見守り、ごみ出し等の支援など）
10. 乗合タクシーなどの生活交通対策活動
11. 文化保存・伝承活動（地区の伝統芸能、歴史の伝承など）
12. 情報伝達のための活動（回覧板・屋外掲示板など）
13. その他（具体的に

(回答欄)

	(上記 1～13 までの数字を各 3 つ以内で記入)		
①あなたの町内会・自治会が、現在、力を入れている活動			
②今後内容や回数などを充実させたいと思っている活動			
③特に現役世代（50 歳代以下）の参加が多い活動			
④特に現役世代（50 歳代以下）の参加が少ない活動			

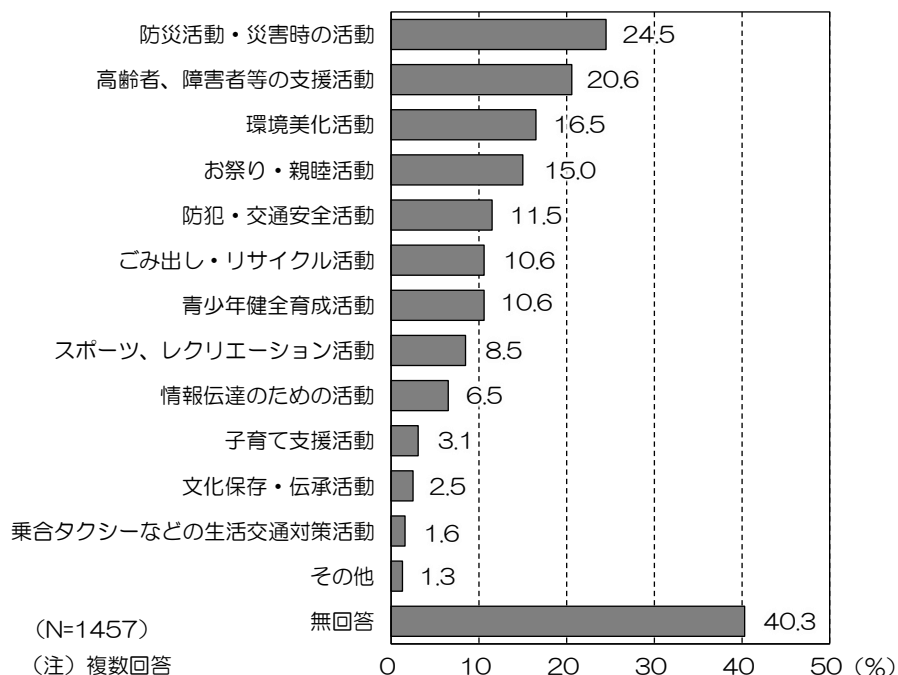
①あなたの町内会・自治会が、現在、力を入れている活動

○ 「お祭り・親睦活動」が最も多く 57.2%、次いで「環境美化活動」が 30.3%、「ごみ出し・リサイクル活動」が 28.3%となっている。



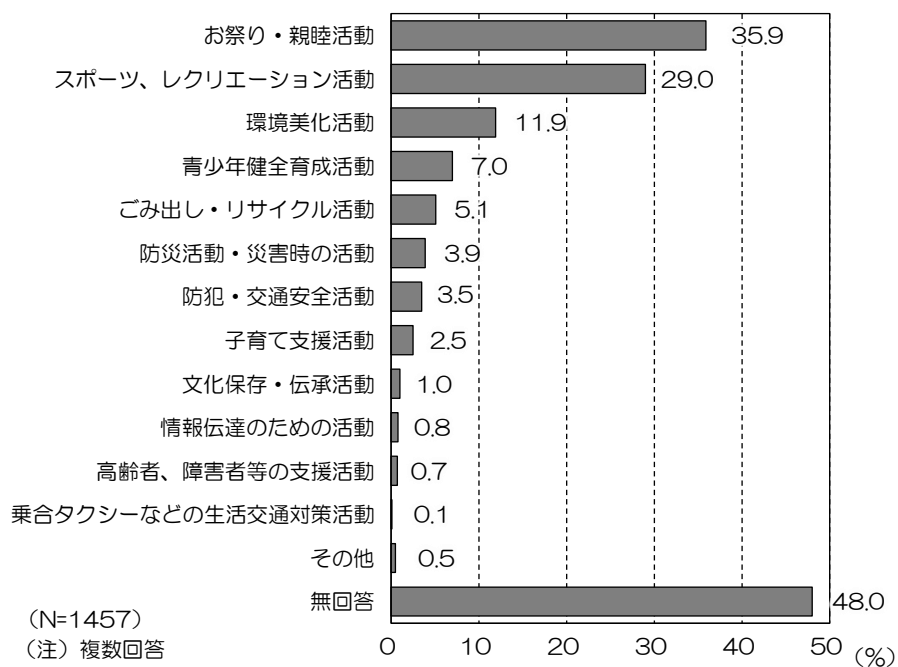
②今後内容や回数などを充実させたいと思っている活動

○ 「防災活動・災害時の活動」が最も多く、次いで「高齢者、障害者等の支援活動」、「環境美化活動」の順となっている。



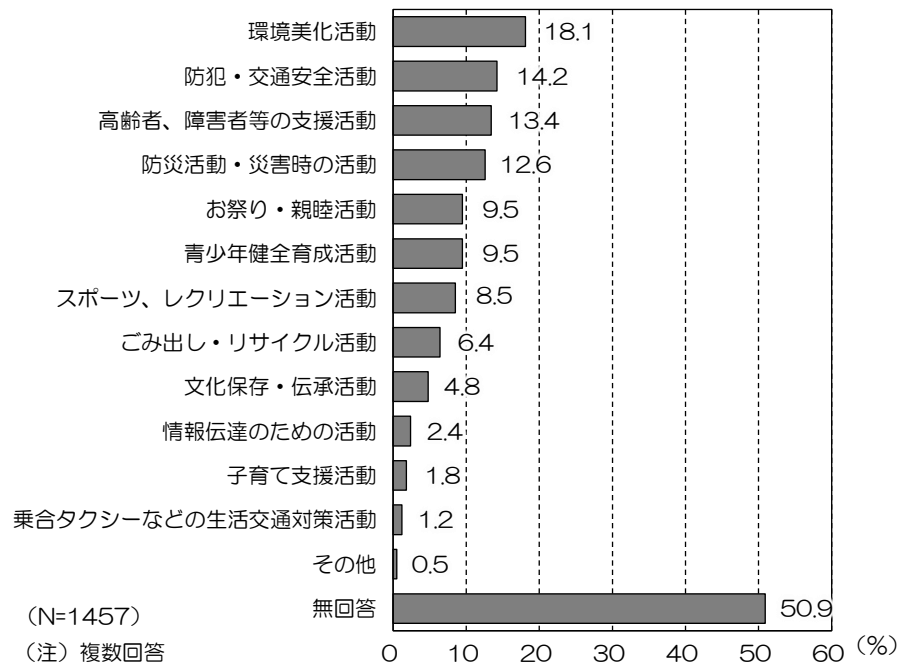
③特に現役世代（50歳代以下）の参加が多い活動

○ 「お祭り・親睦活動」が最も多く、次いで「スポーツ、レクリエーション活動」、「環境美化活動」の順となっている。



④特に現役世代（50 歳代以下）の参加が少ない活動

- 「環境美化活動」が最も多く、次いで「防犯・交通安全活動」、「高齢者、障害者等の支援活動」の順となっている。



問 29. あなたの町内会・自治会で最近（ここ 3 年程度で）開始した取組があれば教えてください。（直接記入）

最近開始した取組

【回答の一部】

- ・ラジオ体操、百歳体操。
- ・75 歳以上の方に、敬老会のお祝いとして町内会員の方の店で使用できる買物券のプレゼント。
- ・高齢者の見守り・声掛け、店舗のオーナーや従業員に対し高齢者に配慮するようお願い。すべての店舗にステッカーで掲示（徘徊対策、代金未払い対策）で協力。
- ・独り暮らし高齢者の見守り活動、環境美化活動。
- ・高齢者ウォーキング、町内にある神社の清掃（年 4 回）。
- ・見守りネットワークによる高齢者（1 人および夫婦 2 人暮らし）の方の見守り活動。
- ・市が行っている高齢者いきいき活動事業（いきいきクラブ）。
- ・乳幼児と高齢者の集い。集会所でのマルシェ（市場）開催。
- ・お元気確認。
- ・昨年、空き家を活用して交流拠点としてサロンを開設した。それに伴い町内コミュニティ活動が活発になった。百歳体操、いきいきサロン、健康麻雀、囲碁、歩こう会。
- ・①生涯教育の一環で「〇〇大学」（生涯学習講座）を立ち上げた。現在コロナで中止中ですが、好評です。②シニア活動。介護や認知症講演などの勉強会。
- ・1 人暮らしの高齢者と若者の安心安全「もしもしコール」の実施、災害後の復興対策の推進。
- ・住民主体型生活支援訪問サービス。
- ・乗り合いタクシー。
- ・こども支援事業を開始。
- ・①子育てオープンスペース。②高齢者の見守りネットワーク。③集会所の無料開放及びぶらりカフェ。
- ・12 月の小学生との交流（クリスマスをメイン）ものづくりなどの実施。
- ・ちびっこ桜まつり。子どもを対象にして、竹馬やこま回しなどのなつかしい遊びを体験できるイベント。
- ・出産祝い 3000 円の新設。学区会館利用料補助。
- ・登下校の見守り。
- ・町内会単位でのカーブ観戦。
- ・休耕地を利用したグランドゴルフ場整備実施。
- ・フラワー教室（花を生ける手伝い）。100 歳体操。わいわい食堂（高齢者、子供中心の食事会）。
- ・フリーマーケット開催。

- 花壇の作成、育成。
- 町民作品展、花壇づくり。
- 花いっぱい運動。地域猫対策。野菜無人市の開設。草刈り清掃作業（有志グループの発足）。
- ドローンによる田んぼの農薬散布。
- 里山整備事業。
- 地域猫活動（野良猫の去勢、避妊）。
- ボランティアバンク活動。
- 公園清掃の年間スケジュールを記載した、町内ボランティア参加カードを町内会全世帯に 1 枚ずつ配布し、参加日ごとにスタンプを押し、年間 12 回以上参加した世帯に、お礼として 1000 円のクオカードをプレゼント。
- リサイクル資源の回収。
- ゴミステーションへのゴミカレンダーの貼り付け。
- コロナ対策で消毒スプレー配布（1 個/家）。
- 獣害対策。
- 防犯カメラの設置。
- 道路幅が狭く、緊急車両が入りにくい道路の拡幅事業。
- 自主防災専用の回覧板の設置。
- 西日本豪雨災害を受け、行政の指導も受けながら、自主防災の担当役員を中心に周辺町内会と合同で防災マップ作りを行った。
- 防災関連に重点を置き、各世帯に非常持ち出し袋を配布（約 4000 円）。
- 防災機器の設置（全世帯）。
- 防災訓練及び防災マップの作成。
- 防災士の養成。
- 救命講習会の開催。
- 組長に毎月一回顔合わせをしてもらい、町内人材の共有と配布物の持ち帰りをしてもらい、役員の配布の手間を軽減している。また、この機会を利用して町内会を取り巻く状況の説明をして理解を得るなど、意見交換の場でもある。
- 従来のバインダー（回覧板）にプラス→「班長用ファイリング」を新設した。「班長用ファイリング」の中身は、総会、各種クラブなどがある。イメージはミニ町内会長。資料の入れ替えは月一回。当番会議で説明する。この一冊で町内地図（会員名入り）、集会所利用マニュアル、クラブ活動内容があり、困ったときは班長に聞けばほぼわかるファイルだ。
- 会長より毎月、会長コラムという形で A4 程度に入る内容（防災、行事、季節のこと、お願いなど）を回覧すると同時にマチコミメールに登録してもらい、メールする取組を始めた。
- スマホを使用した連絡（LINE）を充実させた。
- HP（今年 10 月から）。
- 住民へのアンケートを実施。
- 役員報酬の支給、活動会員の手当支給。

問 30. 町内会活動に参加する人は、ここ数年間で増加していますか。(1つだけ○)

1. 増加している

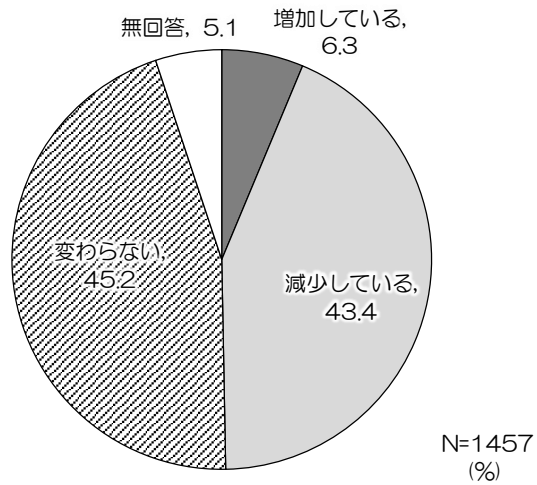
2. 減少している

3. 変わらない

⇒問 32 へ

⇒問 32 へ

○ 「変わらない」が45.2%、「減少している」が43.4%、「増加している」が6.3%となっている。



問 31. 「減少している」と回答した方にお聞きします。その原因は何だと思いますか。

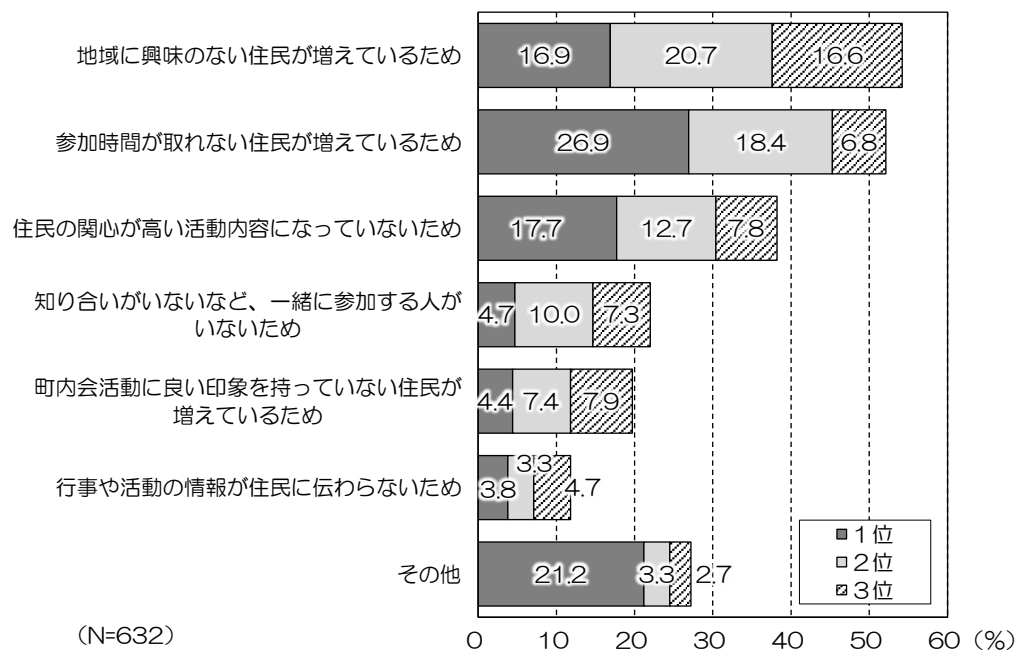
(原因だと感じている順に3つまで回答欄に番号を記入)

1. 行事の開催や活動内容に関する情報が住民に伝わらないため
2. マンネリ化など、住民の関心が高い活動内容になっていないため
3. 町内会活動に参加する時間が取れない住民が増えているため
4. 単身世帯や知り合いがいないなど、一緒に活動に参加する人がいないため
5. 自分の暮らす地域に興味のない住民が増えているため
6. 町内会活動そのものに良い印象を持っていない住民が増えているため
7. その他（具体的に

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 「地域に興味のない住民が増えているため」が最も多く、次いで「参加時間が取れない住民が増えているため」、「住民の関心が高い活動内容になっていないため」の順となっている。

一方、第1位の回答では「参加時間が取れない住民が増えているため」が最も多くなっている。



(注) 無回答はグラフに表示していない
 回答率 第1位 95.6%
 第2位 75.8%
 第3位 53.8%

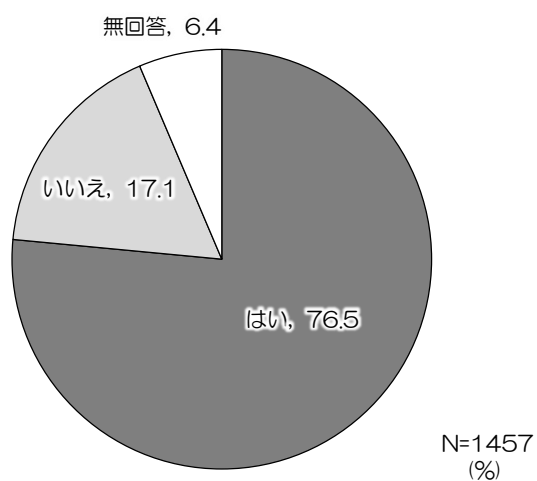
問 32. あなたの町内会・自治会は「高齢者いきいき活動ポイント事業」の登録団体ですか。(1 つだけ
○)

1. はい

2. いいえ

⇒問 36 へ

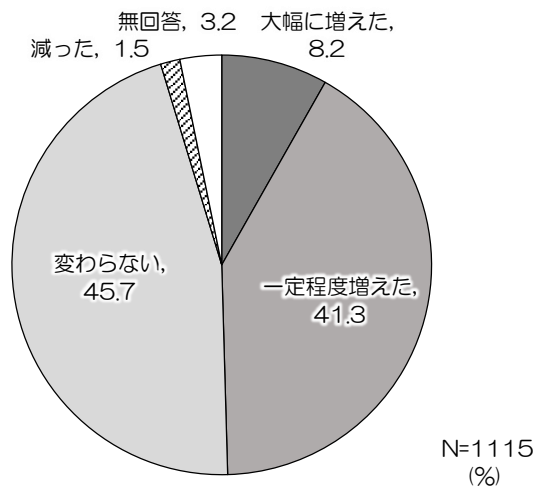
○ 「はい」が76.5%、「いいえ」が17.1%となっている。



問 33. 「はい」と回答した方にお聞きします。登録団体になる前と後で、活動への参加者は増えましたか。(1つだけ○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 大幅に増えた | 3. 変わらない |
| 2. 一定程度増えた | 4. 減った |

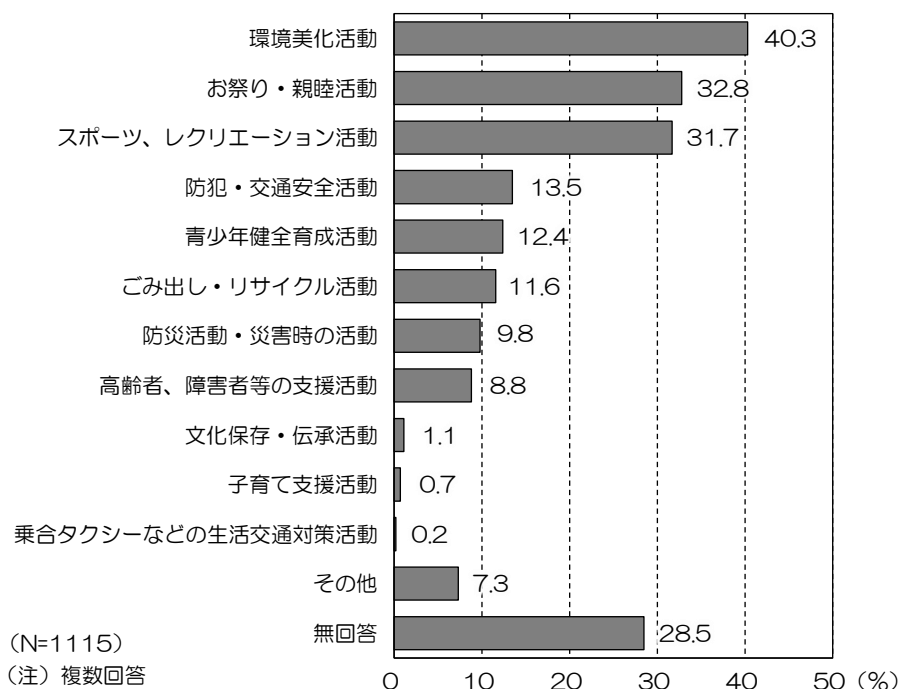
○ 「大幅に増えた」と「一定程度増えた」の合計が49.5%、「変わらない」が45.7%、「減った」が1.5%となっている。



問 34. 特にどのような活動で参加者が増えましたか。(該当するものすべてに○)

1. お祭り・親睦活動（夏祭り、とんど、新年会など）
2. スポーツ、レクリエーション活動（運動会、スポーツ大会など）
3. ごみ出し・リサイクル活動（ごみステーションの管理、資源回収）
4. 環境美化活動（公園・道路の清掃、花壇整備など）
5. 防犯・交通安全活動（防犯パトロールなど）
6. 防災活動・災害時の活動（防災訓練、避難所運営など）
7. 青少年健全育成活動（登下校時の見守り、あいさつ活動、子ども会活動）
8. 子育て支援活動（乳幼児保育への支援など）
9. 高齢者、障害者等の支援活動（見守り、ごみ出し等の支援など）
10. 乗合タクシーなどの生活交通対策活動
11. 文化保存・伝承活動（地区の伝統芸能、歴史の伝承など）
12. その他（具体的に)

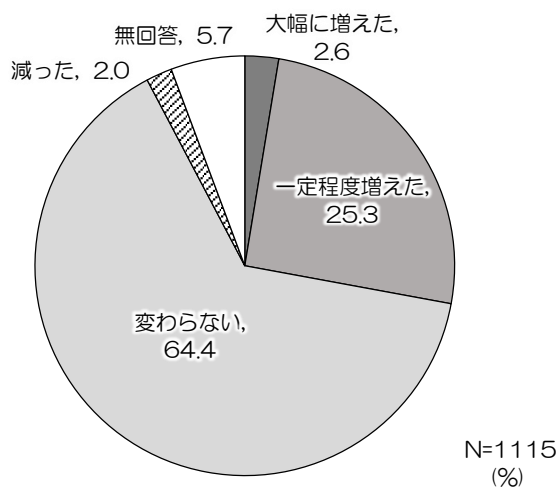
○ 「環境美化活動」が最も多く 40.3%、次いで「お祭り・親睦活動」が 32.8%、「スポーツ、レクリエーション活動」が 31.7%となっている。



問 35. 登録団体になる前と後で、活動に協力してくれる人（担い手）は増えましたか。（1 つだけ○）

- | | |
|------------|----------|
| 1. 大幅に増えた | 3. 変わらない |
| 2. 一定程度増えた | 4. 減った |

○ 「大幅に増えた」と「一定程度増えた」の合計が 27.9%、「変わらない」が 64.4%、「減った」が 2.0%となっている。



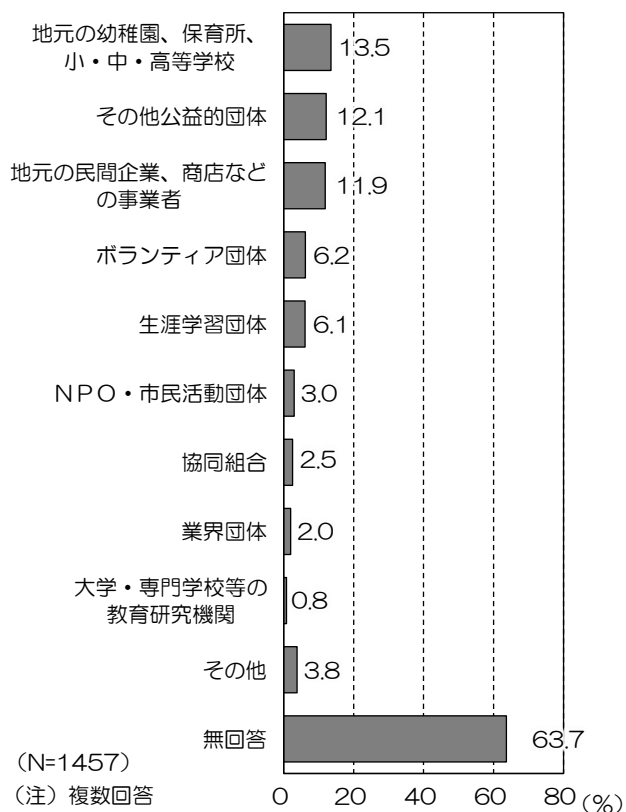
9. 他団体からの協力について

問 36. 現在、問 16 で示した地域団体以外で、町内会活動に協力してくれる団体や、今後、協力をお願いしたい団体はありますか。（該当するものすべてに○）

団体名	現在 活動に協力し ている団体	今後 協力してほしい団体
1. ボランティア団体		
2. NPO・市民活動団体		
3. 生涯学習団体（公民館で活動するサークル団体等）		
4. 業界団体（商工会、商店街振興組合、観光協会など）		
5. 地元の幼稚園、保育所、小・中・高等学校		
6. 大学・専門学校等の教育研究機関		
7. 協同組合（農協、漁協など）		
8. その他公益的団体（社会福祉法人、公益財団・社団法人）		
9. 地元の民間企業、商店などの事業者		
10. その他 （具体的に		

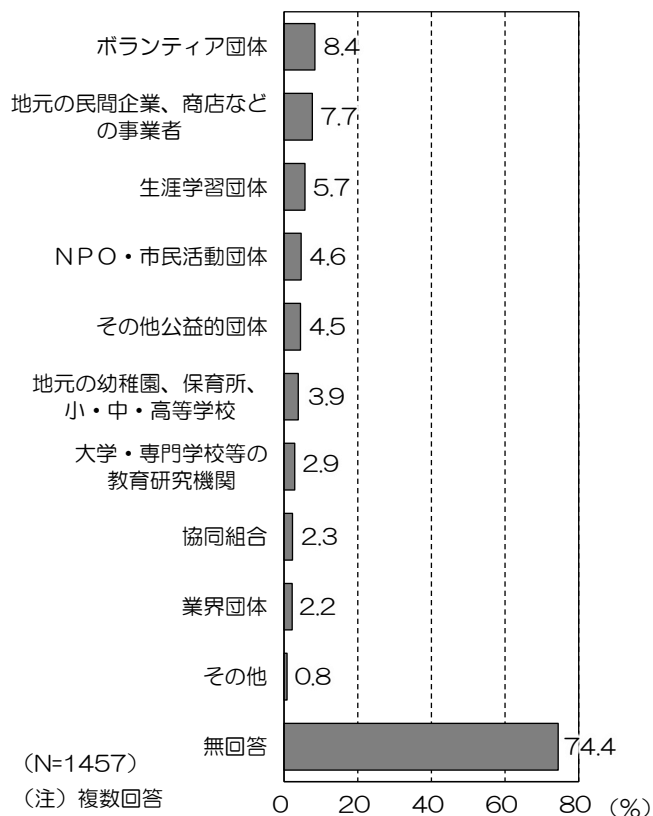
【現在活動に協力してくれる団体】

○ 「地元の幼稚園、保育所、小・中・高等学校」が最も多くなっている。



【今後協力してほしい団体】

○ 「ボランティア団体」が最も多くなっている。



問 37.現在、他団体にどのような活動に協力してもらっていますか。また、今後は、どのような協力を希望しますか。（該当するものすべてに○、また、最も希望するものに◎）

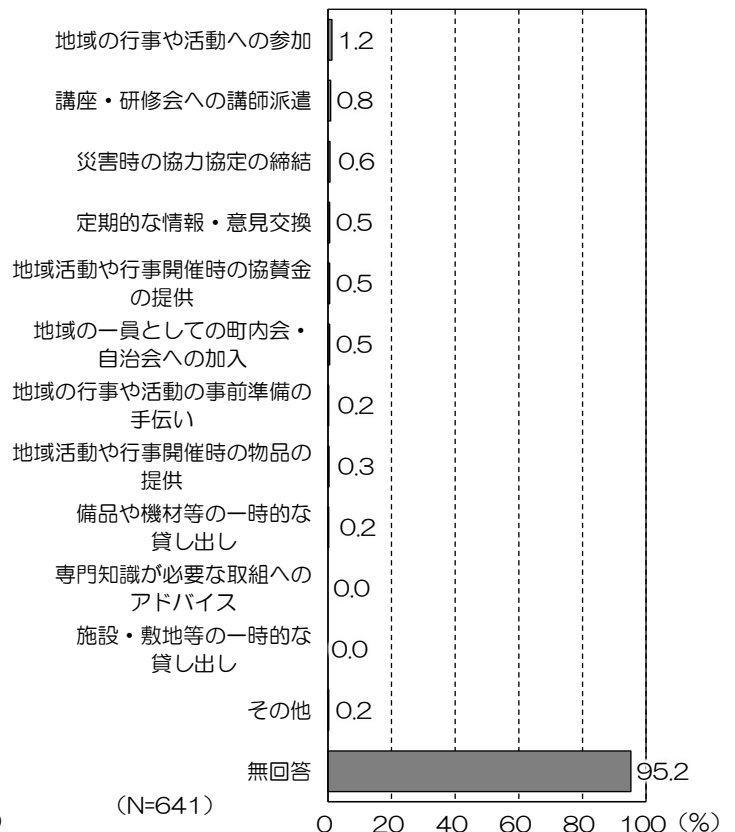
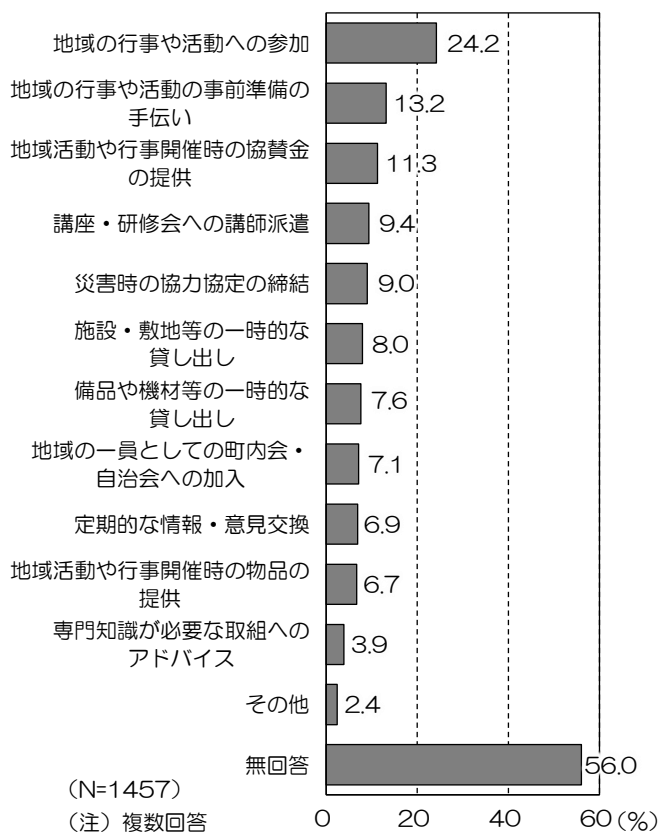
協力内容	現在 協力してもら っている活動	今後 協力を希望す る活動
1. 地域の行事や活動への参加		
2. 地域の行事や活動の事前準備の手伝い		
3. 講座・研修会への講師派遣		
4. 定期的な情報・意見交換		
5. 専門知識が必要な取組へのアドバイス		
6. 災害時の協力協定の締結		
7. 地域活動や行事開催時の物品（飲料、啓発品等）の提供		
8. 地域活動や行事開催時の協賛金の提供		
9. 町内会が保有していない備品や機材等の一時的な貸し出し		
10. 施設・敷地等の一時的な貸し出し		
11. 地域の一員としての町内会・自治会への加入		
12. その他 （具体的に		

【現在協力してもらっている活動】

○ 「地域の行事や活動への参加」が最も多く、次いで「地域の行事や活動の事前準備の手伝い」、「地域活動や行事開催時の協賛金の提供」の順となっている。

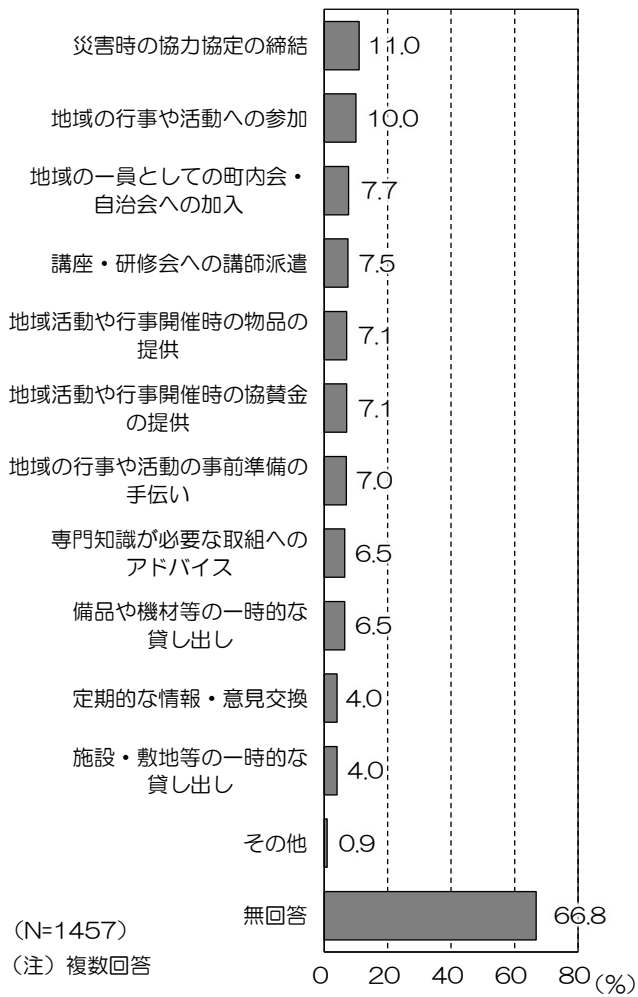
【現在最も協力を希望する活動】

○ 回答があったもののうち、「地域の行事や活動への参加」が最も多くなっている。



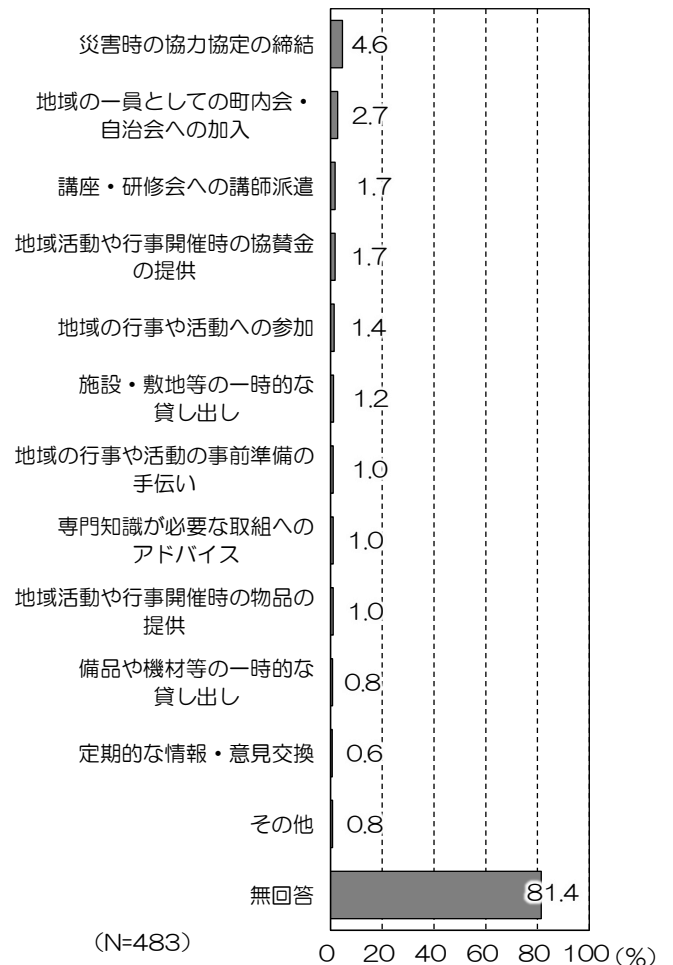
【今後協力を希望する活動】

○ 「災害時の協力協定の締結」が最も多くなっている。



【最も協力を希望する活動】

○ 回答があったもののうち、「災害時の協力協定の締結」が最も多くなっている。

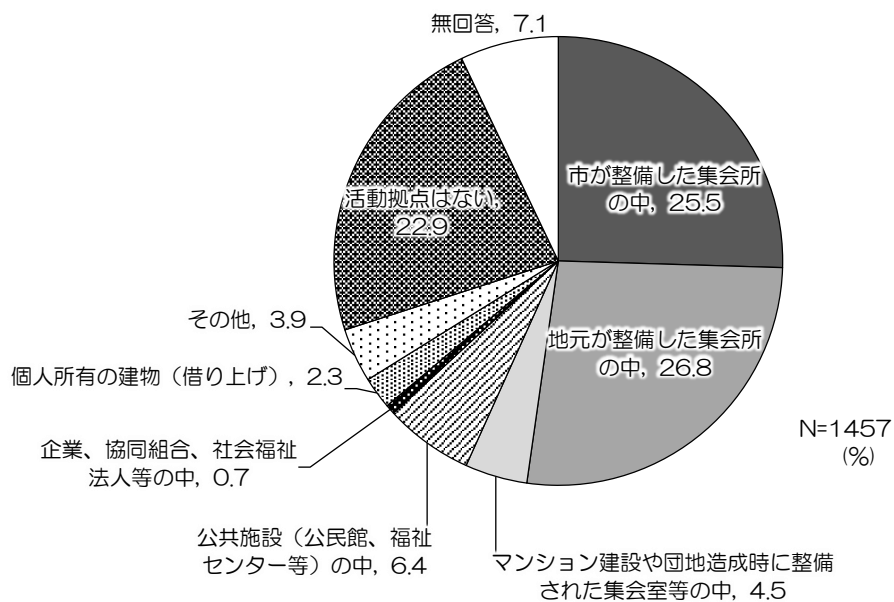


10. 活動拠点について

問 38. あなたの町内会・自治会では、会長や役員の自宅以外に、常に事務作業や書類の保管、小規模な会議等を行う場所（活動拠点）がありますか。ある場合はどんな場所ですか。（1つだけ○）

1. 市が整備した集会所の中
2. 地元が整備した集会所の中
3. マンション建設や団地造成時に整備された集会室等の中
4. 公共施設（公民館、福祉センター、老人いこいの家等）の中
5. 企業、協同組合、社会福祉法人等の中（借り上げ）
6. 個人所有の建物（住宅などを借り上げ）
7. その他（具体的に
8. 活動拠点はな

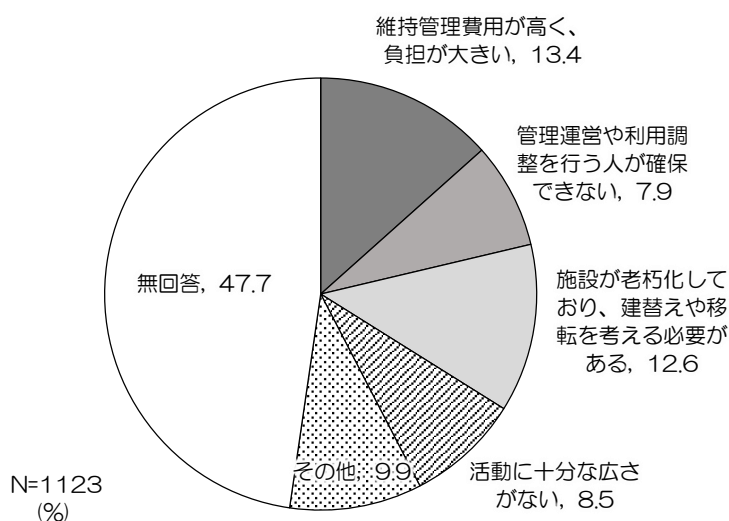
○ 活動拠点のうち、「地元が整備した集会所の中」が最も多く、次いで「市が整備した集会所の中」の順となっている。



問 39. 活動拠点設けることの課題を教えてください。(1つだけ○)

1. 施設の維持管理費用が高く、負担が大きい
2. 施設の管理運営や利用調整を行う人が確保できない
3. 施設が老朽化しており、建替えや移転を考える必要がある
4. 活動に十分な広さがない
5. その他（具体的に

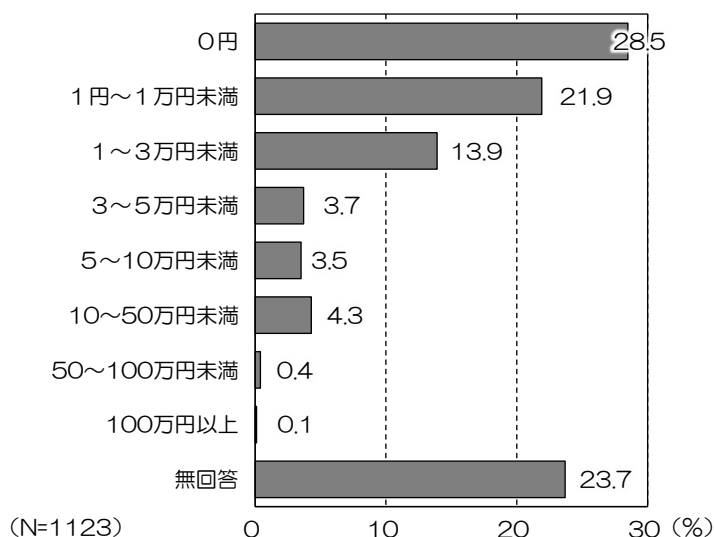
○ 回答があったもののうち、「その他」を除いて、「維持管理費用が高く、負担が大きい」が最も多く、次いで「施設が老朽化しており、建替えや移転を考える必要がある」、「活動に十分な広さがない」の順となっている。



問 40. 活動拠点の運営経費（家賃、光熱費、事務経費など）について、概ねの月額を教えてください。（直接記入。※ない場合は「0円」とお書きください。）

活動拠点の運営経費（ ）円

○ 回答があったもののうち、「0円」が最も多く、次いで「1円～1万円未満」、「1～3万円未満」の順となっている。

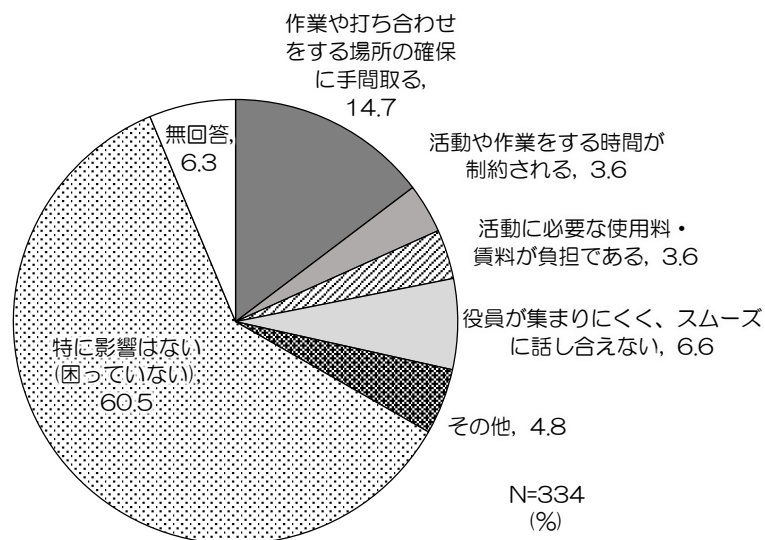


問 41. 活動拠点が無い町内会・自治会にお聞きします。活動拠点が無いことで、活動上、特に困っていることはありますか。(1つだけ○)

1. 作業や打ち合わせをする場所の確保に手間取る
2. 活動やそのための作業をする時間が制約される
3. 活動に必要な使用料・賃料が負担である
4. 役員が集まりにくく、スムーズに話し合えない
5. その他(具体的に)
6. 特に影響はない(困っていない)

○ 活動拠点が無いことで、活動上、特に困っていることのうち、「作業や打ち合わせをする場所の確保に手間取る」が最も多く、次いで「役員が集まりにくく、スムーズに話し合えない」の順となっている。

一方、全体では「特に影響はない(困っていない)」が最も多く 60.5%となっている。

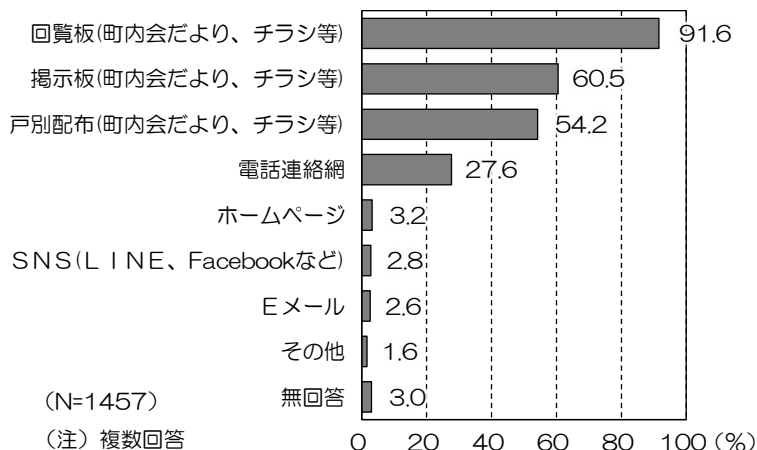


11. 町内会の情報伝達、広報について

問 42. あなたの町内会・自治会の活動の広報手段を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 戸別配布(町内会だより、チラシ等)	5. ホームページ
2. 回覧板(町内会だより、チラシ等)	6. Eメール
3. 掲示板(町内会だより、チラシ等)	7. SNS(LINE、Facebook など)
4. 電話連絡網	8. その他(具体的に)

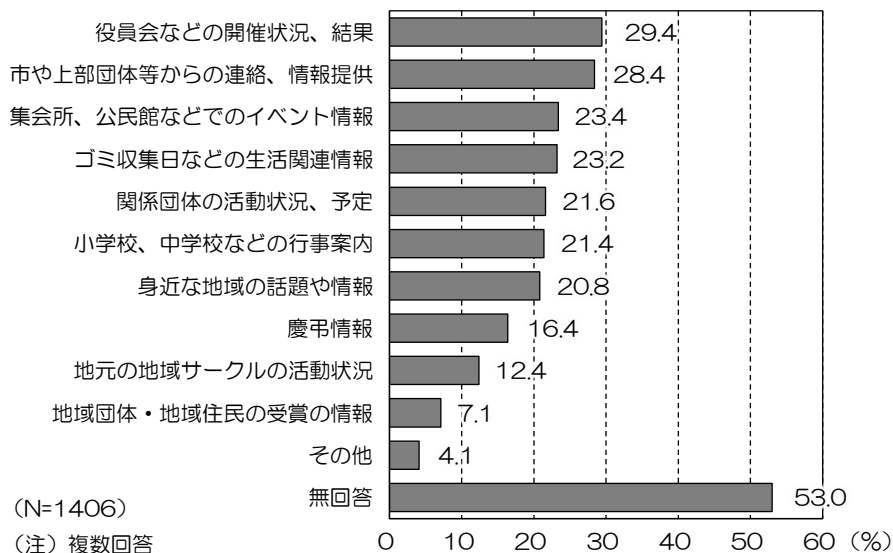
○ 「回覧板(町内会だより、チラシ等)」が最も多く91.6%、次いで「掲示板(町内会だより、チラシ等)」が60.5%、「戸別配布(町内会だより、チラシ等)」が54.2%となっている。



問 43. 町内会だよりを発行されている町内会・自治会にお聞きします。あなたの町内会・自治会で、町内会だよりに掲載されている内容を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 役員会などの開催状況、結果	7. 身近な地域の話や情報
2. 市や上部団体等からの連絡、情報提供	8. ゴミ収集日などの生活関連情報
3. 関係団体の活動状況、予定	9. 地域団体・地域住民の受賞の情報
4. 集会所、公民館などでのイベント情報	10. 慶弔情報
5. 小学校、中学校などの行事案内	11. その他
6. 地元の地域サークルの活動状況	(具体的に)

○ 「役員会などの開催状況、結果」が最も多く、次いで「市や上部団体等からの連絡、情報提供」、「集会所、公民館などでのイベント情報」の順となっている。



問 44. ホームページやSNSを活用していると回答した方にお聞きします。活用したことで良かったこと、逆に困ったことを教えてください。（直接記入）

良かったこと	
困ったこと	

【良かったこと（回答の一部）】

（伝達が早い・容易など）

- ・伝達時間が早い。
- ・情報周知が迅速に行える。
- ・連絡が早い。
- ・出欠がすぐとれるようになった。
- ・SNSにて役員間の連絡がスピード化された。
- ・緊急時に役立つ（役員間でショートメール）。
- ・行事等の日程がすぐわかる。
- ・連絡が早くできる。
- ・事務連絡が迅速にできる。
- ・連絡が早い。
- ・迅速な情報共有ができる。
- ・毎月の回覧を待たずに情報を伝えることができる。
- ・一斉送信により、情報伝達が早くなり、集まらなくても意見交換ができる。
- ・電話連絡ではなく、一斉なので良い。
- ・一斉に配信できるので便利。
- ・情報伝達が容易。
- ・情報提供ができること。
- ・町内会や連合町内会などの情報伝達がしやすい。
- ・役員間の連絡手段として活用。
- ・同時に共有・協議が出来る事。
- ・直接会わなくても良い。
- ・連絡事項が記録に残る。
- ・内容の確認が双方で共有できること。
- ・読み忘れた回覧・広報誌等手軽に閲覧（スマホ）会計・事業報告&事業予定が時系列で閲覧出来る。
- ・本人に確実に伝わる。
- ・既読で広報が届いたことが分かる。
- ・個々に意見交換でき、率直な意見を得られる。時間の制限を気にしなくてよい。
- ・意見が直接上がってくる。
- ・場所の確保、時間を気にしないで事が早く進む。
- ・最小限の情報がタイムリーに入手できる。
- ・多くの人がタイムリーに情報収集できること。
- ・イベントの中止などがすぐにわかること。

- ・若年者へ伝わる。
- ・いつでも時間のある時に発信できる。
- ・夜間に連絡しやすい。

（広く周知できるなど）

- ・町内だけでなく多くの人に町内会活動を知ってもらえる。
- ・町内会の活動状況が広く周知できる。
- ・町内会活動の共有化。
- ・自治会のHPがあるので、活動などのいろいろな情報がわかる。
- ・自治会の活動を会員に周知することができた。
- ・誰でも活動などを閲覧できる。
- ・瞬時に閲覧出来て、ほかの地区に住んでいる家族が見える。
- ・地域を離れても情報が見れる。アンケートにも活用できる。緊急時への対応。
- ・地元を離れた人にも情報が伝わり、Uターンが期待。
- ・情報を必要とする方々が見ていらっしやる。

（その他）

- ・町内会活動の誘いがたやすい。特に緊急時。
- ・新規マンション入居者に対し平野町の概要が早く理解できた。
- ・見てくださる方がいて声掛けしてくださる。
- ・作成が得意な人がいる。

【困ったこと（回答の一部）】

（更新出来る人がいない・更新が大変であるなど）

- ・継続した更新のための人材確保困難（作業が会長に集中）。
- ・HPのアップデート担当がいないので、私がやっている。
- ・メンテナンス要員不足。
- ・ホームページの更新作業が間に合わない。
- ・更新が大変。
- ・掲載情報の更新。
- ・常に文字の差し替えをしないとイケない。
- ・内容の更新作業が負担。
- ・更新は一人で担当、作業増。
- ・個人情報の取り扱い（写真など）。
- ・新しい情報を常に上げないと関心が薄れてしまう。
- ・更新回数をどうするか。
- ・更新されないままになっている。

（あまり効果を感じられないなど）

- やっても特に反響があるわけではない（自己満足）。
- HP をつくっています。宣伝しても反応がなく、作っている甲斐がない。
- 更新が年に数回なので、アクセスが少なく更新する気がおきない。

（SNS を利用していない人への対応など）

- 一部の人には連絡できない。
- 一部のメンバーはガラケーで、全員ではない。
- LINE 対応のできない人への連絡。
- 連絡のつかない人がいる。
- SNS をしていない役員もいるため、複数の連絡方法を取っている。
- 誰もがパソコン操作ができない。
- インターネット環境がない高齢者は関心がない。
- 老人が多く分かりにくい伝達事項が徹底しないと思う。
- 高齢の方など協力いただけない方がいる。
- 広く活用されていない。

（その他）

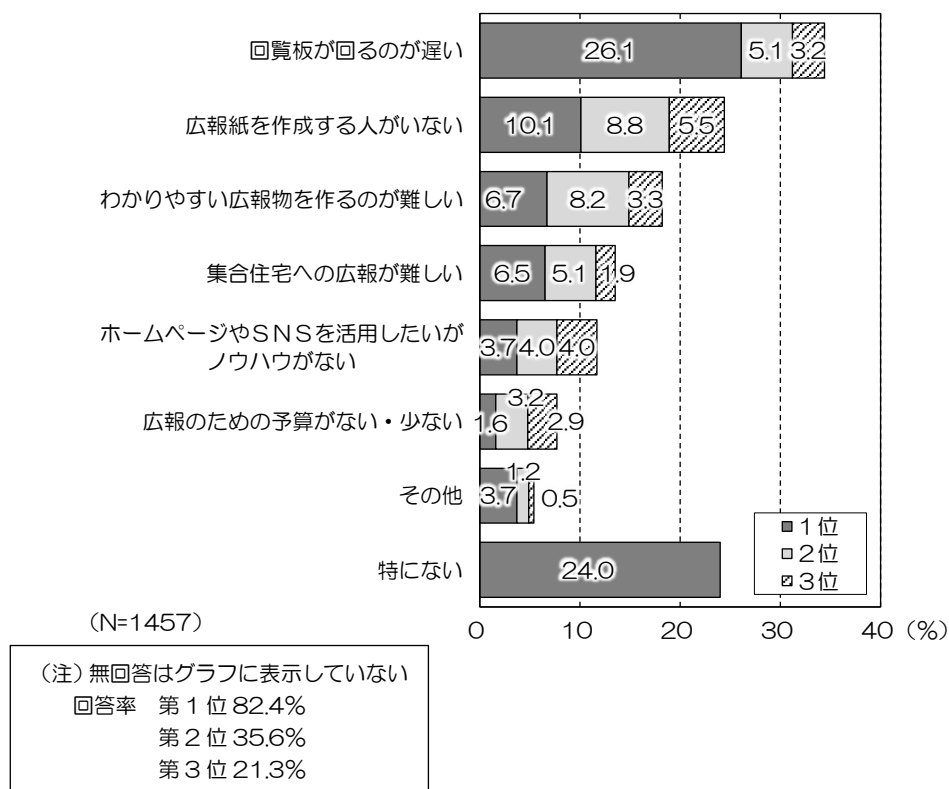
- あまり広げると難しくなる。
- 配信に時間がかかる。ショートメールの既読が分からない。
- 返事に時間がかかる。
- 回答がない。

問 45. あなたの町内会・自治会において情報の伝達手段や広報活動について、どんな課題がありますか。（課題だと感じている順に3つまで回答欄に番号を記入）

1. 回覧板が回るのが遅い	6. 広報のための予算がない・少ない
2. わかりやすい広報物を作るのが難しい	7. その他
3. 集合住宅への広報が難しい	（具体的に
4. ホームページやSNSを活用したいがノウハウがない	8. 特にない
5. 広報紙を作成する人がいない	

回答欄	第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----	-----

○ 情報の伝達手段や広報活動の課題と感じていることのうち、「回覧板が回るのが遅い」が最も多く、次いで「広報紙を作成する人がいない」、「わかりやすい広報物を作るのが難しい」の順となっている。



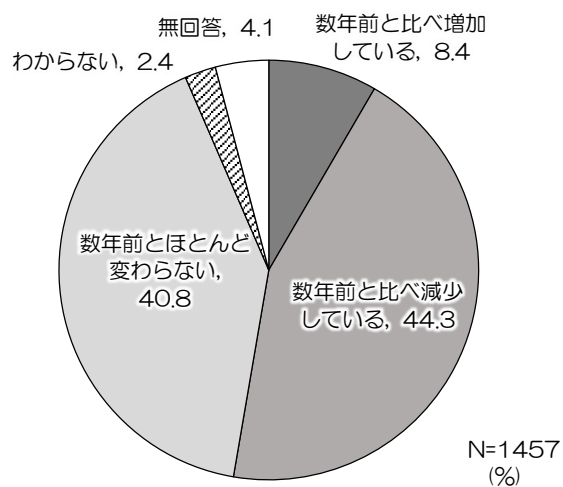
1 2. 町内会・自治会の加入について

問 46. 町内会・自治会の加入世帯数は、数年前と比べて増減していますか。また、増加している理由、減少している理由は何ですか。

(増減状況) (1 つだけ○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 数年前と比べ増加している | 3. 数年前とほとんど変わらない |
| 2. 数年前と比べ減少している | 4. わからない |

○ 「数年前と比べ減少している」が最も多く 44.3%、次いで「数年前とほとんど変わらない」が 40.8%、「数年前と比べ増加している」が 8.4%となっている。

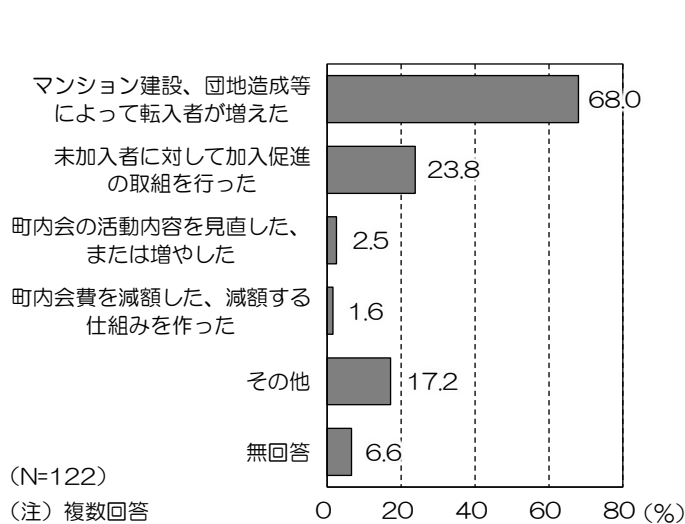


(増加している理由)(該当するものすべてに○、最も大きな理由だと思うものに◎)

理由	増加している理由	最も大きな理由
1. 未加入者に対して加入促進の取組を行った		
2. 町内会の活動内容を見直した、または増やした		
3. 町内会費を減額した、または事情に応じて減額する仕組みを作った		
4. 新たなマンション建設、団地造成等により、転入者が増えた		
5. その他(具体的に)		

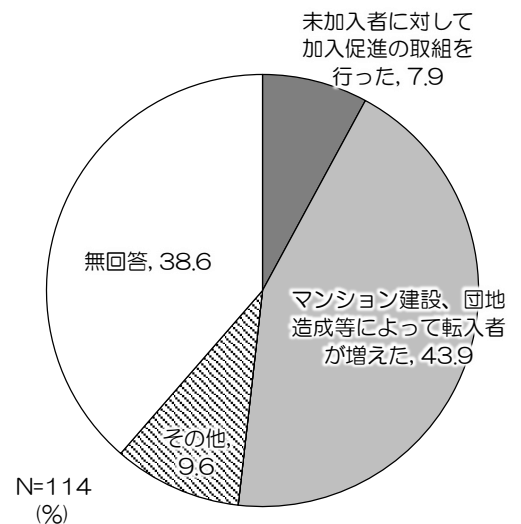
【増加している理由】

- 「マンション建設、団地造成等によって転入者が増えた」が最も多く 68.0%、次いで「未加入者に対して加入促進の取組を行った」が 23.8%となっている。



【最も大きな増加理由】

- 回答があったもののうち、「その他」を除いて、「マンション建設、団地造成等によって転入者が増えた」が最も多く、次いで「未加入者に対して加入促進の取組を行った」の順となっている。

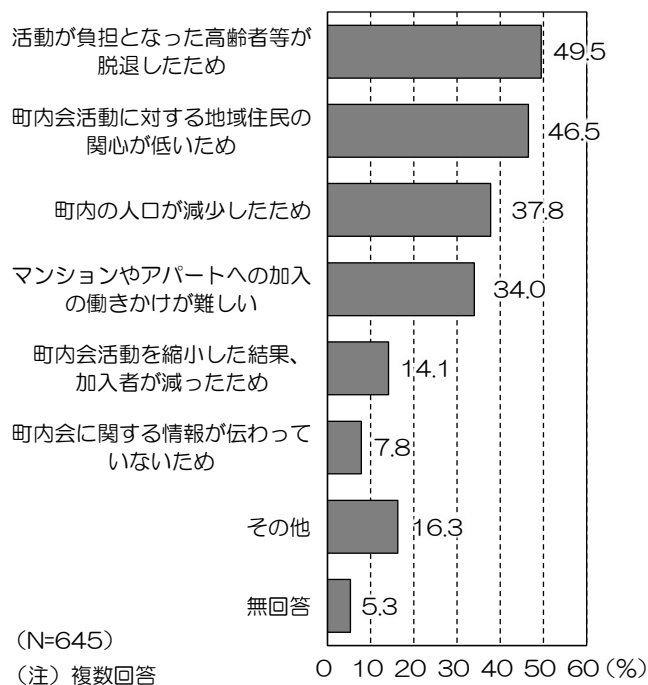


(減少している理由)(該当するものすべてに○、最も大きな理由だと思うものに◎)

理由	減少している理由	最も大きな理由
1. 町内会活動に対する地域住民の関心が低いため		
2. マンションやアパートが増え、これらの住宅への加入の働きかけが難しい		
3. 町内会に関する情報が伝わっていないため		
4. 町内会活動が負担となった高齢者等が脱退したため		
5. 役員のなり手がおらず、町内会活動を縮小した結果、加入者が減ったため		
6. 町内の人口が減少したため		
7. その他 (具体的に)		

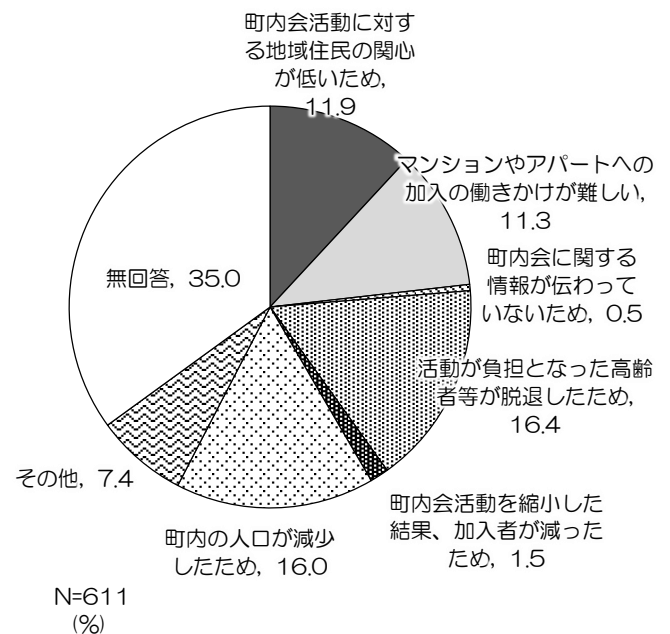
【減少している理由】

- 「活動が負担となった高齢者等が脱退したため」が最も多く49.5%、次いで「町内会活動に対する地域住民の関心が低いため」が46.5%、「町内の人口が減少したため」が37.8%となっている。



【最も大きな減少理由】

- 回答があったもののうち、「活動が負担となった高齢者等が脱退したため」が最も多く、次いで「町内の人口が減少したため」、「町内会活動に対する地域住民の関心が低いため」の順となっている。

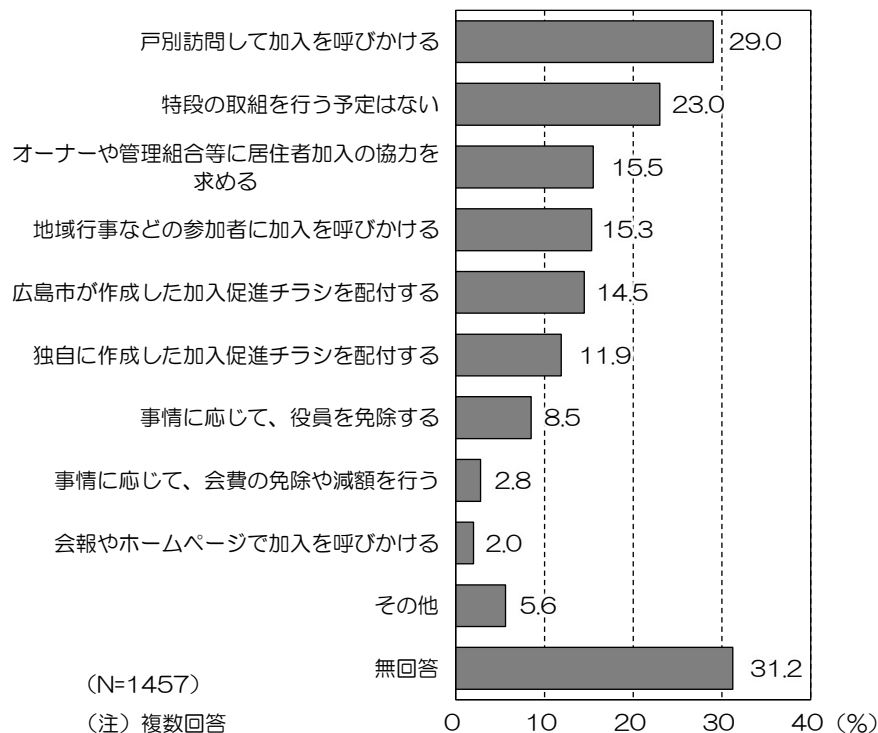


問 47. 未加入者の加入促進のためどんな取組を行っていますか。(該当するものすべてに○、最も効果のあったものに◎)

取組内容	該当するもの	最も効果のあったもの
1. 役員が戸別訪問して加入を呼びかける		
2. マンション、賃貸住宅のオーナーや管理組合等に居住者加入への協力を求める		
3. 地域行事などの参加者に加入を呼びかける		
4. 町内会・自治会が独自に作成した加入促進チラシを配付する		
5. 広島市が作成した加入促進チラシを配付する		
6. 会報やホームページで加入を呼びかける		
7. 事情に応じて、会費の免除や減額を行う		
8. 事情に応じて、役員を免除する		
9. 加入希望の連絡があれば対応するが、特段の取組を行う予定はない		
10. その他 (具体的に)		

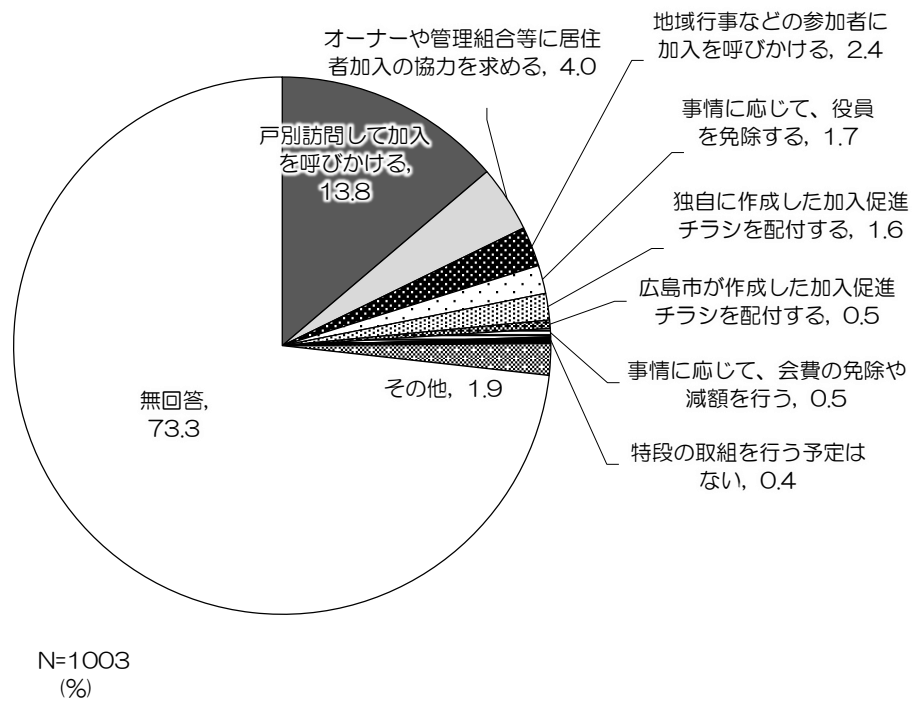
【該当するもの】

○ 「戸別訪問して加入を呼びかける」が最も多く、次いで「特段の取組を行う予定はない」、「オーナーや管理組合等に居住者加入への協力を求める」の順となっている。



【最も効果のあったもの】

○ 回答があったもののうち、「戸別訪問して加入を呼びかける」が最も多くなっている。



問 48. 「特段の取組を行う予定はない」と回答した方にお聞きします。取組を行わないことについて、何か理由があれば、差し支えない範囲で教えてください。（直接記入）

理由

【回答の一部】

（強制はしたくない・トラブルを避けるためなど）

- ・町内会に対する考え方が、時代の流れで変わるのを実感している。町内会活動に関与したくないという家庭が増えているように感じる。そのような状況で加入を呼びかけると、かえって関係が悪化すると思われる。
- ・本人の意志に反して加入するとトラブルになることが考えられる。
- ・宗教的なものや個人の性格など、個人情報に関する事項があるから。また、数の論理ではないので、無理して入れてもうまくいかない。
- ・何かしらのトラブルに巻き込まれたらいやなので。町内会員からの声があれば声かけもするが、特にないので放っている。
- ・転入時の加入確認で加入の意思がない方に対して何度も促進すると関係が悪くなると思うから。
- ・無理に勧誘するとトラブルの原因になる。町内会に入るメリットを説明できない。
- ・個人の意思を束縛するような強制的な加入に受け取られたら困るので。
- ・強制的なことはしたくない。
- ・1 年中ボランティア活動（町内会活動含）しているため時間がない。また過去に、PTA 役員、民生委員、老人会役員、国勢調査指導員などをしていて、町内に住んでいる人、ほぼ 90%以上と何らかの接触があったが、色々な考えがあるので、特に勧誘しない方が良いという思いでいます。ただし、いつでもウエルカムの状態で門戸開放しています。
- ・未加入者の大部分は賃貸マンション（ワンルーム）の単身者であり、分譲マンションの住民に比べ格段に地域に関心・愛着を持っていないため。
- ・賃貸マンションが多く、転勤族も多い。町内会加入に興味、関心がない人が多い。
- ・新規加入者（世帯）は比較的若い世代で、その世帯の町内会に対する関心、要望が既加入世帯とズレがあるように思われる。そのため、役員も意見の隔たりがあるせいか、会として取組を行おうという熱意が低い。
- ・未加入世帯のほとんどが単身者・転勤世帯であり、加入する意思がもともとない。努力によって増えるとは考えられない。
- ・強制はできない。若い人、仕事の関係で不在が多いと加入したくない考えを持った人がいる。ごみ問題もあり、難しい面がある。
- ・高齢者が多いため、新規加入者が入ることを望まない。
- ・町内会に入るのを嫌がる人が増えている。町内会（自治会）としての活動が特になく、回覧を回すだけ。年に 1、2 度の清掃活動くらいなので、加入も呼びかけにくい。
- ・以前に行ったが、皆興味がないという回答が多く、その後は加入促進はしていない。

- ・町内会に加入しない理由は「役員をしたくない」とわかっているので特段の取り組みはとっていない。加入希望者には入ってもらっている。
- ・各戸に理由があつてのことなので、それ以上求めない。
- ・加入希望をしない世帯に強く加入を促進することは困難である。
- ・加入については自由意思であり、個人の考えを尊重したい。

（上手く勧誘できないなど）

- ・町内会への加入メリットがはっきりと訴えづらい。
- ・加入メリットを感じてもらえない。
- ・単身者には町内会の意義に理解を得られない。
- ・町内会の良さを説明する自信がない。
- ・「加入のメリットは何か」「転勤族です」などと言われ、加入のお願いをする人が嫌がる。
- ・効果的な取組を思いつかない。

（役員の負担を増やさないためなど）

- ・役員会で現状のままで町内会運営をしていこうと決めたので、世話をする役員の負担を増やさないため。
- ・今以上の取組を行うには、役員及び住人への負担が増え、逆効果につながりかねない。
- ・現状 1000 件でこれ以上世話できない。いろいろ苦情も多く対応できない。
- ・費用対効果の問題。活動に労力をかけても効果は少ない。
- ・役員による家庭訪問を計画したが、役員の負担が増えるので中止。
- ・個別訪問するには時間がかかり忙しい。やるべきだとは感じている。
- ・役員の高齢化により自主的に動く人がいない。
- ・実行する役員がいない。

（未加入者が把握できないなど）

- ・新たな入居世帯の情報を全て把握できる状況にないこと。また、入居者または関係者から加入の問い合わせで対応できているため特段の取組まで行う予定はない。
- ・役員は未加入家庭を把握できない。ご近所同士で呼びかけていると思う。
- ・勧誘する相手（住民）が探せない。（普通昼間は不在、あるいはビル管理人が良く分からない等）、賃貸マンション、住宅に住んでいる人は本人が決められない等。
- ・個人情報の秘密保護のため、その家族にだれがどのくらいいるのかも把握しにくく、若い人がいても老人が借り出されるため若い人の加入が見込めない。
- ・賃貸マンションオーナーは、個人情報保護をたてに入居者の情報を教えてくれない。オーナーが一定の金銭を町内会に納付し、個々の入居者への加入に消極的だ。
- ・マンションの住人は転入・転出が多い。
- ・マンションへの訪問が自由に行えない。
- ・アパートの入居者とほとんど交流がない。

(現状のままで良い・加入は必要ないなど)

- 全員加入している。
- 加入状況がよいため。
- 今のままで良い。
- 未加入者が少ないので積極的な働きかけはしていない（個人の事情を考慮している）。
- 全体の加入率を押し下げている集合住宅世帯は、管理組合への加入で町内会への加入は不要と考えている。
- 入会を促す理由が分からない。入会しなくても支障がないと考える。

問 49. あなたの町内会・自治会では、集合住宅に対する加入促進策の取組をしていますか。している場合は、どのような取組か差し支えない範囲で教えてください。（直接記入）

取組

【回答の一部】

（オーナーに協力依頼など）

- ・管理会社・オーナーに町内会加入を要請している。
- ・該当集合住宅の役員と会合を持つ。
- ・新規にマンション等が建つ場合不動産会社に町内会加入をすすめています。
- ・集合住宅のオーナー等へ協力を求める。独自に作成した加入促進チラシを配布する。広島市が作成した加入促進チラシを配布する。
- ・建設前に加入をお願いする。個人所有の場合、オーナー又は管理（不動産会社）に協力をお願いする。
- ・分譲マンションの建築条件として、町内会加入を決定してもらう（デベロッパーに依頼）。
- ・新築の場合、建築計画の段階で業者が挨拶に来た時、町内会入会が条件として事前合意を交わすこと。
- ・マンション建築の際、業者へ町内会加入する必要があることを伝えて協力をしてもらっている。
- ・①建築時に会議を開催し、基本的事項を協定する。②情報提供ルールを確立する。
- ・新しくマンションが建ったときは、管理会社に連絡を入れる。1Kマンションにはチラシを配布。
- ・マンションなど集合住宅が建設される際、施主及び入居者に加入勧誘を実施する。
- ・集合住宅（マンションなど）購入時に町内会入会を重要事項として取り上げ、入居者全員の加入を推進している。
- ・新たにマンションが建設される情報があると、ゼネコンまたは管理組合の方へアプローチをかけ、町内会へ加入してもらえるよう働きかけをする。
- ・アパート・戸建て住宅販売業者の営業マンに加入呼びかけを依頼している（町内会規則を渡している）。
- ・建設時、オーナーや管理組合等へ入居者加入の協力を求めている。
- ・新規マンションの事業者に働きかけ、住人への説明会をさせてもらった。
- ・集合住宅の持ち主に入居者に入ってもらうことを守ってもらう条件としてもらう。
- ・市営住宅やマンションの出入口に祭りの案内や講習会などの案内を掲示板に貼り、組長やオーナーへの参加を呼び掛けている。一か所のマンションはオーナーが住んでおらず、非協力的なので、戸別で住人に町内会の案内をしている。

（訪問・チラシ配布・掲示板など）

- ・役員が戸別訪問を実施し、加入者のメリットのチラシの配布や説明をして、会則やごみの出し方の

表を渡す。

- 自治会長が未加入者宅に訪問し加入を勧誘する。
- 新規入居があった場合、会長が訪問して自治会のPRおよび加入依頼を行っている。
- 新居に入られた方に対して、自治会の活動内容などの資料を渡して話をする。
- 1件1件回って入会してもらうようにお願いしています。会費・事業など子供会からの入会もお願いするようにしています。
- 日数が経ってからの声掛けはピント外れになるので、棟委員（班長）に住民の引越し（退室・入居）には特に注意いただき、入居時には、①まず声掛け挨拶、②自治会の資料（ゴミ収集、ハザードマップ、自治会だよりなど）を案内し、自治会への加入促進を図るようにしている。
- 直接加入を呼びかけるケースがほとんどだが、効果は少ない。
- 加入促進のチラシを作成し説明会を開催。
- チラシを個別配布する。
- 定期的に加加入のチラシをポスティングしています。
- 未加入世帯に行政の加入促進チラシを配布した。
- 「町内会に加入しませんか」というA4チラシを作成し集合住宅に配付した。
- マンションが建った時にチラシを配布している。
- リーフレットのポストイン。自治会行事のお誘い。
- 自治会加入お願いの案内書を配布する。
- 町内イベントをまとめた広報誌の配布。
- 掲示板に案内を貼ってもらう。

（その他）

- 地域行事、イベント等に参加したときに加入促進する。
- まずは春の町内清掃に参加してもらう。大家さんへ加入してもらえようコンタクトを取る。
- 子どものいる世帯に対し、運動会、秋祭り子ども神輿、餅つきへの参加と、町内会加入を呼びかけしている。
- 町内会の活動状況を知らせることで関心を持たせること。経験がなくとも、活躍できるとPRする。話題作り、提供。
- 常にコミュニケーションをとることに気を付けている。
- 大規模集合住宅が3棟あり、それぞれが班を形成しているので、その班長になったものに勧誘をお願いしている。
- 入居者に町内会加入するよう勧めてもらう。
- 既にアパートに入居されている方の紹介や小中学校、子供会などの活動や行事を通して。
- 子供会への入会から町内会へ加入。ごみ箱を町内会で管理している（設置場所、ゴミ箱の購入）ので、ごみを出すために町内会に加入をしてもらっている。
- 会費の減額や役員免除などで加入を呼びかけている。
- 町内会費を減額しています。
- 可能であれば家賃徴収時に自治会費も同時徴収をしてもらうようにしている。
- 全員入らせる代わりに役員免除というアパートがある（大家さんの希望）。

13. 行政の支援について

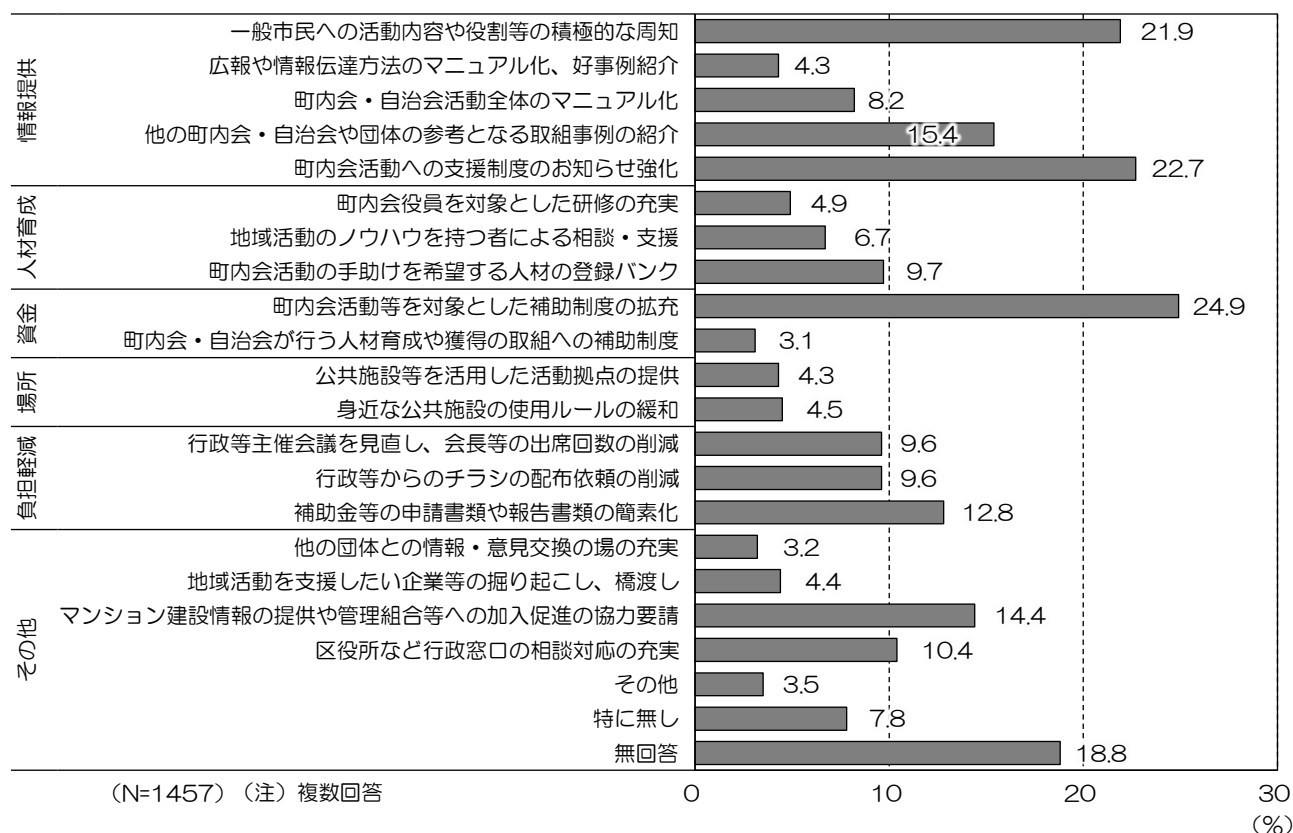
問 50. 行政がどのような取組を行えば、町内会・自治会活動の活性化に役立つと思いますか。（1～20の中から3つまで回答欄に番号を記入、また、その中で特に役立つと思うものは太枠の回答欄に番号を記入）

情報提供	1. 一般市民に対する町内会・自治会の活動内容や役割等の積極的な周知 2. 広報や情報伝達の方法のマニュアル化、好事例の紹介 3. 町内会・自治会活動全体のマニュアル化 4. 他の町内会・自治会や地域団体の参考となる取組事例の紹介 5. 町内会活動を対象とした支援制度（補助金、物品の提供・貸出、講師派遣等）のお知らせの強化
人材育成	6. 町内会役員を対象とした研修の充実 7. 役員経験者など地域活動のノウハウを持つ者による相談・支援 8. 町内会活動の手助けを希望する人材の登録バンク
資金	9. 町内会活動等を対象とした補助制度の拡充 10. 町内会・自治会が自ら行う人材育成や獲得の取組への補助制度
場所	11. 公共施設等を活用した活動拠点の提供 12. 身近な公共施設（公園、集会所等）の使用ルールの緩和
負担軽減	13. 行政・警察等が主催する会議を見直し、会長等の出席回数の削減 14. 行政・警察等からのチラシの配布依頼の削減 15. 補助金等の申請書類や報告書類の簡素化
その他	16. 他の団体との情報・意見交換の場の充実 17. 地域活動を支援したい企業等の掘り起こし、町内会等との橋渡し 18. マンション建設情報の提供やマンション管理組合等への加入促進の協力要請 19. 区役所など行政窓口の相談対応の充実 20. その他（具体的に ）
	21. 特に無し

回答欄	役立つもの				特に役立つもの	
-----	-------	--	--	--	---------	--

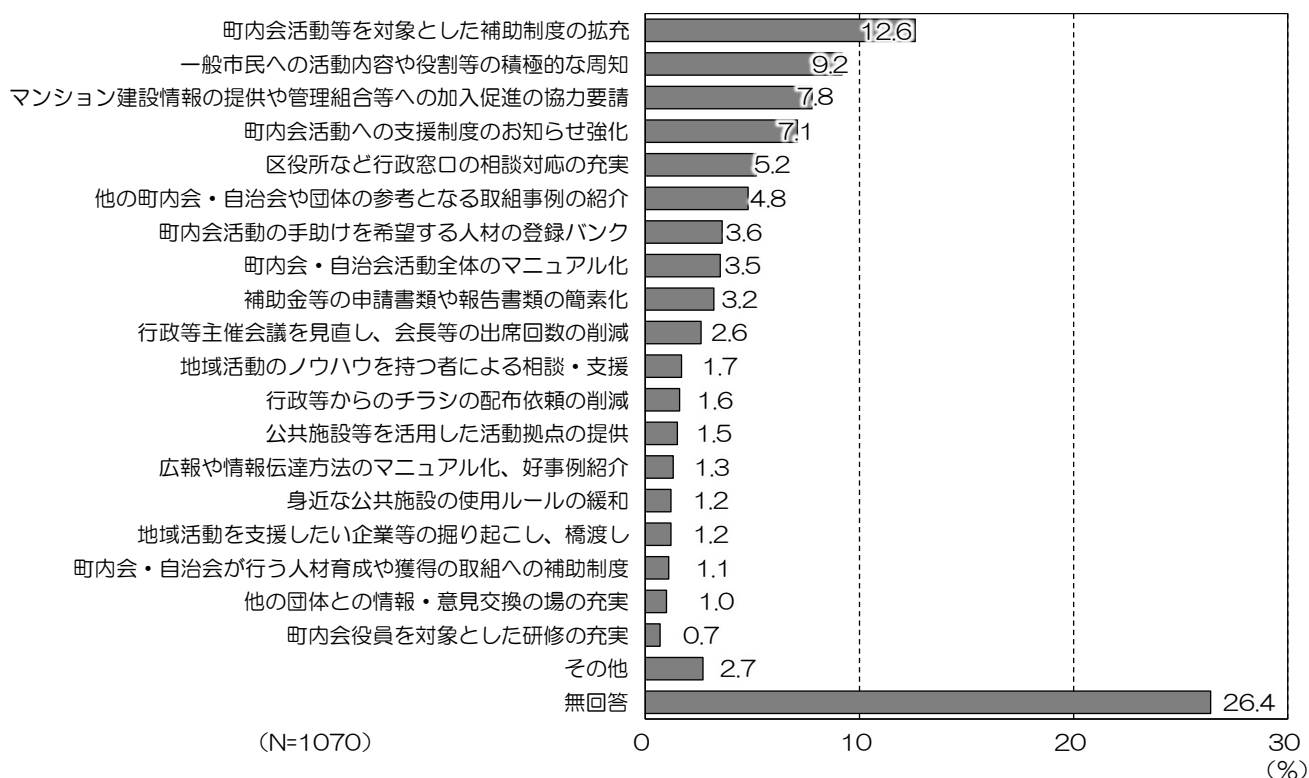
【役立つもの】

- 「町内会活動等を対象とした補助制度の拡充」が最も多く 24.9%、次いで「町内会活動への支援制度のお知らせ強化」が 22.7%、「一般市民への活動内容や役割等の積極的な周知」が 21.9% となっている。



【特に役立つもの】

- 回答があったもののうち、「町内会活動等を対象とした補助制度の拡充」が最も多く、次いで「一般市民への活動内容や役割等の積極的な周知」、「マンション建設情報の提供や管理組合等への加入促進の協力要請」の順となっている。



14. 自由記入

問 51. あなたの町内会・自治会や区域の現状、地域コミュニティ全般についての課題や取組への提言、新型コロナウイルス感染症の拡大で困ったことや新たに取り組んだこと、その他、ご意見やご要望などがありましたらご記入ください。

また、他団体の参考になるような取組等がありましたら、併せてご記入ください。

多くのご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

(キーワード)

・ 役員のなり手不足 ・ 加入者減少 ・ 高齢化 ・ 役員の負担 ・ SNSの活用 ・ 町内会への加入促進 ・ マンション入居者の加入 ・ 集会所の設置 ・ 地域のつながり	・ 町内会費 ・ コロナ対応 ・ 高齢者いきいきポイント ・ ホームページ等の開設 ・ 市職員のOBの活用 ・ 役員マニュアルの作成 ・ 会長・役員のサポート不足 ・ 相談窓口の一本化
--	--

(意見 (一部))

- ・ 高齢者いきいきポイント制度について、町内会役員へのインセンティブとして、別途のポイント付与を考えたかどうか。公務員の退職者に対する町内会役員就任の取組はいかがだろう。
- ・ 町内会運営の事務的な部分を委ねることができるNPO等受け皿を設置することで、役員の時間的負担軽減、蓄積されたノウハウを踏まえた助言で町内会を支えてもらうことで、現役世代でも余裕をもって担える方法が見いだせるのではないか。
- ・ 情報伝達として回覧をしているが、町内会で利用できるホームページ等を市で開設いただき、回覧・連絡に利用できれば情報交換、役員の時間的負担減に大きく寄与すると期待できる。インターネットを利用できない世帯には、従来の方法も残るが、それでも大きな前進となり、このツールで地域コミュニティの活性化につながる活用も期待できる。
- ・ 市が作成した「町内会へ入りましょう」のパンフレットは入会したら「こんなことをさせられる感」をイメージさせ、逆に入会を警戒させる効果しかないかもしれません。メリットや恩恵など、行政からそのきめ文句を示してもらえればと思います。例えば、ごみ収集を活用した加入促進の製作は考えられないでしょうか。
- ・ 町内会の運営は現役世代は難しいと思う。退職者を中心に運営していかざるを得ないと思う。特に、市職員のOBの活用を中心に考える必要がある。
- ・ 学区レベルで、老人クラブ・青少協・女性会などあり、活動の際に町内会へ動員や協力要請があるが、町内会の規模は様々で、小さい町内会は何役も兼ねる必要がある。小さな学区レベルの組織は、部会等にした簡略化が必要。
- ・ 町内会活動は、退職直後の方々に、事務処理や勤務経験を活かして、活動を下支えできないか。
- ・ 地域活動やボランティア活動への参加意識は、子供時代から培っていく必要があるため、子供会で地域活動等に参加すれば、高齢者いきいきポイントのように、ポイントを付与して、何らかの対価（お菓子や図書券等）を与えることはできないか。
- ・ 国の政策で 70 歳まで雇用を継続していくために定年延長・定年廃止・再雇用制度の導入を行い、地域の該当者が 60 歳を超えて町内会参加を呼び掛けても、なかなか町内会の役員に参加してもらえず、町内の担い手が見つからない状況である。行政から 60 歳を超えた人に地域貢献の講座などを開催するなどバックアップをお願いしたい。
- ・ 町内会の活動（町内会理事会、町の課題・予定を話し合う、月一回の会議）も「いきいき活動レポート」の対象にしてほしい。会議は対象外と言われたが、配布物の分配、地域活動の相談なども行

っている。

- コロナによりほとんどの行事が中止となり、町内活動の活性化がなくなっている。With コロナの活動の在り方を指導してほしい。
- 今後、行政に要望するとしたら、役員マニュアルを作成し、誰もが平等に分担できるようにしてほしい。
- 町内会・自治会・会長・役員の決定方法について：1年輪番制が多く見受けられますが、決定時副制度を採用し次回正役員の自覚を促せばスムーズな移行ができないか。
- 町内会、自治会、会長、役員が敬遠される理由として、サポート不足があるのではないか。各自治会、町内会に行政の担当者を決め、窓口を一本化すればスムーズな運営が出来るのではないか。
- 行政がおすすめするWEB会議ツールやWEB回覧のツールなどがあれば知りたいです。
- 民生委員さんの補助的サポーター制度の設置を希望。（民生委員さんとの対話を願います。直接の意見を。）
- 「近所の人と仲良くつきあいましょう」という呼びかけを続けてほしい。①区役所に手続きに行ったときにポスターで告知する②回覧板に近所の人とうまく付き合っているといいことがあった例などを紹介した印刷物をつけて回す③小学校などで小学生に教育する④テレビで広告機構等でアピールするなど。
- 町内会員からいろいろ相談されたとき、区役所の相談窓口が分かりづらい。町内会の困りごと窓口があったら町内会会員や役員の負担軽減になる。
- NPO法人やボランティア組織と連携しての町内会活動を推進している具体的な例について知りたい。
- SNSの発信により、若い世代との関わりを強化された具体例を知りたい。
- 出来たら市の職員の方が参加して欲しい。またOBでも結構です。
- 高齢者も多く、「家庭ごみの正しいだし方」のポスターを少し大きく分かりやすくしてほしい。また、「分別50音事典」を各家庭に配って欲しい。
- 町内会の必要性を感じていない人にどのようにアプローチすればいいのか、効果があるのか、ぜひ他の成功例を教えていただきたい。
- 行政への困りごと、相談事、要望などをお願いするのに窓口を一本化にしてもらえませんか。
- 町内会に加入していたらこんな良いことがあったという事例や体験談をまとめたようなものが欲しい。
- これだけネットが普及しており、コロナ感染の恐れもあるので、市で全員参加のネット会議のアプリを開発し、回覧や議決事項を直接選挙のように全員参加のシステムをつくるべき。
- 近隣のトラブルの対処の仕方や個人情報の取扱い等について、悩みを抱えることもあります。町内会運営の心得等の研修があればいいと感じます。
- マンション内の町内会の運営方法について、ヒントや行政からの施策などがあれば参考として教えて欲しいと思います。